

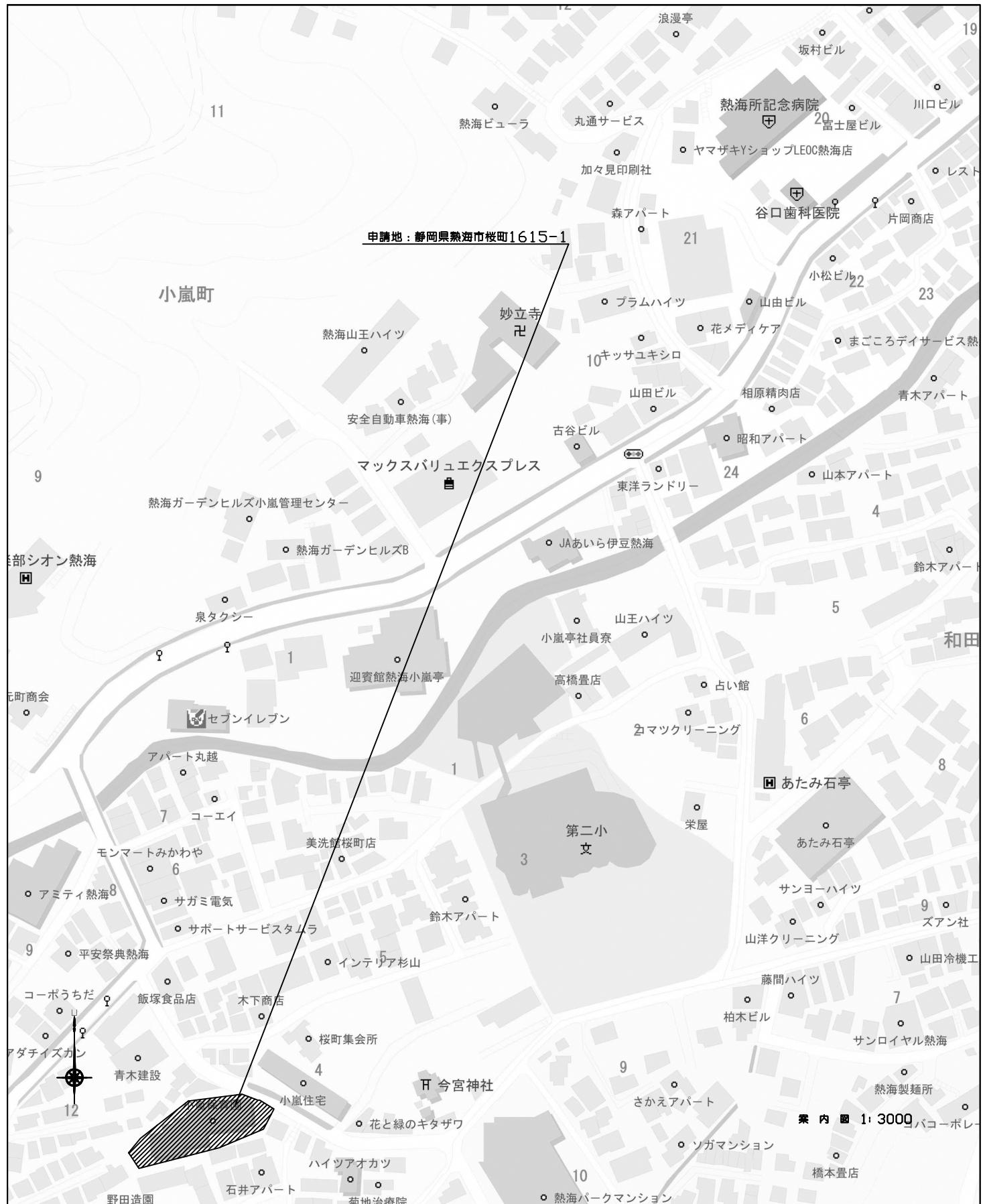
(仮称) あたみ認定こども園改修工事 (その2)

図面リスト	
電気設備図	
E-01 図面リスト	
02 設計概要・案内図	
03 電気設備 特記仕様書(1)	30 幹線動力設備 地階平面図(撤去)
04 電気設備 特記仕様書(2)	31 幹線動力設備 1階平面図(撤去)
05 幹線・動力設備 系統図・地階平面図	32 幹線動力設備 2階平面図(撤去)
06 幹線・動力設備 1階平面図	33 照明器具姿図(撤去)
07 幹線・動力設備 2階平面図	34 電灯設備 地階平面図(撤去)
08 動力制御盤 結線図	35 電灯設備 1階平面図(撤去)
09 電灯設備 照明器具姿図・地階平面図	36 電灯設備 2階平面図(撤去)
10 電灯設備 1階平面図	37 弱電設備 系統図・地階平面図(撤去)
11 電灯設備 2階平面図	38 弱電設備 1階平面図(撤去)
12 非常照明・誘導灯設備 照明器具姿図・地階平面図	39 弱電設備 2階平面図(撤去)
13 非常照明・誘導灯設備 1階平面図	40 弱電設備 屋上平面図(撤去)
14 非常照明・誘導灯設備 2階平面図	41 自動火災報知設備 地階平面図(撤去)
15 コンセント設備 地階・1階平面図	42 自動火災報知設備 1階平面図(撤去)
16 コンセント設備 2階平面図	43 自動火災報知設備 2階平面図(撤去)
17 電灯分電盤 結線図	
18 弱電設備 系統図・地階平面図	
19 弱電設備 1階平面図	
20 弱電設備 2階・屋上平面図	
21 放送設備 系統図・地階平面図	
22 放送設備 1階平面図	
23 放送設備 2階平面図	
24 ローカル放送設備 機器姿図	
25 自動火災報知設備 系統図・地階平面図	
26 自動火災報知設備 1階平面図	
27 自動火災報知設備 2階平面図	
28 機械警備用配管設備 地階・1階平面図	
29 機械警備用配管設備 2階平面図	

設計概要								
敷地	地名地番	静岡県熱海市桜町13-4	敷地面積(㎡)	1188.88㎡				
	用途地域	第二種住居地域	その他の					
	防火地域	指定なし(法22条区域)	地域地区	第1種高度地区				
建物	主要用途	認定こども園		鉄筋コンクリート造				
	工事種別	「保育園」から「認定こども園(乳児棟)」への改修工事		耐火建築物				
	階数	地下1階、地上2階		最高の高さ(ｍ)				
	階高(ｍ)	地下1階：3.200m、1階：3.550m		軒高(ｍ)				
面積	建築面積(㎡)	430.56	建ぺい率(%)	36.22% ≤ 60%				
	延床面積(㎡)	792.16	容積率(%)	66.64% ≤ 300%				
その他	静岡県建築基準条例							
	静岡県福祉のまちづくり条例							

外部仕上

部 位	仕 上
1. 屋 根	<p>下地処理工事1：ペランダ/バルコニー（既存防水層不良部2%）、まち風テラス（既存防水層不良部5%） ※既存ドレン撤去・周囲モルタル成型 既存防水層不良部撤去 防水層撤去後ケレン清掃 高圧洗浄（15pa） 不陸調整（立上り用ウレタン） 平場・立上りクラック補修 ※鋼製改修用二重ドレン新設 ※部分はドレン改修部のみ、その他管理者と協議の上必要な処理を行う</p> <p>下地処理工事2：うみ風テラス（既存防水層不良部5%）、屋根（既存防水層不良部5%） ※既存ドレン撤去・周囲モルタル成型 既存防水層（保護モルタル ゴーリックス防水 均しモルタル）撤去 防水層撤去後ケレン清掃 高圧洗浄（15pa） 不陸調整（立上り用ウレタン） 平場・立上りクラック補修 ※鋼製改修用二重ドレン新設 ※部分はドレン改修部のみ、その他管理者と協議の上必要な処理を行う</p> <p>防水工事1 X-1工法（ペランダ/バルコニー、うみ風テラス、まち風テラス、屋根） ウレタン仲介用プライマー0.1kg/m²（田島ルーフィング 速硬化型DTプライマーMブルー同等） 部分粘着層付絶縁シート1.0mm（田島ルーフィング オルタックシートGS同等） 特化剤・有機則非該当2液ウレタン塗膜防水1.8kg/m²（田島ルーフィング オルタックエース同等） シリコン含有高耐久トップコート0.2kg/m²（田島ルーフィング DTコートシリコーン同等） ※テッキ部分のみ</p> <p>防水工事2 X-2工法（立上り部分のみ） ウレタン仲介用プライマー0.1kg/m²（田島ルーフィング 速硬化型DTプライマーMブルー同等） 特化剤・有機則非該当2液ウレタン塗膜防水0.4kg/m²（田島ルーフィング オルタックエース同等） メッシュ補強材（田島ルーフィング メッシュUB同等） 特化剤・有機則非該当2液ウレタン塗膜防水1.8kg/m²（田島ルーフィング オルタックエース同等） 特化剤・有機則非該当2液ウレタン塗膜防水1.4kg/m²（田島ルーフィング オルタックエース同等） シリコン含有高耐久トップコート0.2kg/m²（田島ルーフィング DTコートシリコーン同等）</p>
2. パラペット	既存（ゴムシート防水+モルタル仕上げ）+（ウレタン塗膜防水）撤去後 ウレタン塗膜防水
3. 床	既存 吹付タイル 水洗い清掃 下地調整の上 防水形複層塗材（エスケー化研レナフレンドゆず肌） 吹付
4. 軒 天	既存 ガルバリウム鋼板（下地共）撤去後 軽鉄下地（外部用） フレキシブルボードt=6.0（目選）貼の上 VP
5. 外 壁	全層の施工数量調査を行い、必要に応じて下地モルタル等の補修をすること 既存 吹付タイル 水洗い清掃、下地調整の上、防水形複層塗材（エスケー化研レナフレンドゆず肌） 吹付
6. 門	既存タイル 撤去後 ポリマーセメントモルタル 金ゴテ押さえにより不陸調整、下地調整の上、防水形複層塗材（エスケー化研レナフレンドゆず肌） 吹付 既存 コンクリート壁 撤去後 ALCパネル（フラット）t=100 防水形複層塗材（エスケー化研レナフレンドゆず肌） 吹付
7. 外部建具	堅 横： 既存 硬質塗装100φ 撤去後 アルミ製114φ（パンドレスタイル）（新設） ドレイン： 既存 鋼鉄製縫引きドレイン 撤去後 鋼鉄製縫引きドレイン（ウレタン塗膜防水用）（新設）
8. シーリング	サッシュ扉： 密性シリコーン系 ALCパネル： ウレタン系
9. 木製テッキ	再生木材145×30 目地5mm ノンビスタイプ 概太：スーパーダイヤ40×40@500、大引・束柱：スーパーダイヤ40×40@900（防水材に接する部分にゴムシートt=10mm）
11. 屋外避難階段	サ サ ラ： St-PL t=16 滲透性鉛めっき処理の上、ポリウレタン樹脂塗装 踏 板： St-40×20×2.3 (L=230) 下地の上、テッキ材（再生木材145×30） 手 篱： St-FB t=9 H1200 滲透性鉛めっき処理の上、ポリウレタン樹脂塗装



■耐火建築物			
柱	1時間		
梁	1時間		
屋根	1時間		
床	1時間		
外壁（非耐力壁）	1時間	軽量気泡コンクリートパネルt=50以上	FP060NE-9293
階段	30分間	鉄造	平12建告1399

<p>電気設備工事特記仕様書</p> <p>I 工事概要</p> <p>1 建設工事名 (仮称)あたみ認定こども園開設にかかる設計等業務委託(乳児棟)電気設備工事</p> <p>2 建設工事場所 静岡県熱海市桜区地内</p> <p>3 建物概要</p> <table border="1"> <tr> <th>建物(棟)名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>延床面積(m²)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>小嵐保育園</td> <td>R C 造</td> <td>2 / 1</td> <td>792.16</td> <td></td> </tr> </table> <p>4 工事科目(○印のあるもの)</p> <table border="1"> <tr> <td>電灯設備(電灯幹線、電灯分歧、コンセント分歧)</td> <td>誘導支援設備(音声誘導装置、インターホン、トイレ呼出)</td> </tr> <tr> <td>動力設備(動力幹線、動力分歧)</td> <td>テレビ共同受信設備</td> </tr> <tr> <td>電熱設備</td> <td>監視カメラ設備</td> </tr> <tr> <td>電源保護設備</td> <td>駐車場管制設備</td> </tr> <tr> <td>受変電設備</td> <td>防犯・入退室管理設備</td> </tr> <tr> <td>電力貯蔵設備(直流電源、交流無停電電源)</td> <td>火災報知設備(自動火災報知、自動閉鎖、非常警報、ガス漏れ)</td> </tr> <tr> <td>発電設備</td> <td>中央監視制御設備</td> </tr> <tr> <td>構内情報通信網設備</td> <td>屋外構内配電線路</td> </tr> <tr> <td>構内交換設備</td> <td>屋外構内通信線路</td> </tr> <tr> <td>情報表示設備(出退・情報表示、電気時計)</td> <td>テレビ電波障害防除</td> </tr> <tr> <td>映像・音響設備</td> <td>昇降機設備</td> </tr> <tr> <td>扩声設備</td> <td>撤去工事</td> </tr> </table> <p>II 仕様</p> <p>1 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、下記の国土交通省大臣官房官庁常総部監修の仕様書(平成28年版)による。(建築物解体共通仕様書は平成24年版)</p> <p>○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) ○ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)</p> <p>◎ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ○ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)</p> <p>○ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) ○ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)</p> <p>○ 建築物解体工事共通仕様書</p> <p>2 標準図は以下の平成28年版による。</p> <p>○ 建築工事標準詳細図</p> <p>◎ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)</p> <p>○ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)</p> <p>3 施工図面に明記がない場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。</p> <p>(1) 質疑回答書((2)~(5)に対するもの)(2)現場説明書(3)特記仕様書(4)図面(5)標準仕様書</p> <p>4 特記仕様</p> <p>(1) 項目は全て適用する。</p> <p>(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>○印のない場合は、※印を適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。</p>	建物(棟)名称	構造	階数	延床面積(m ²)	備考	小嵐保育園	R C 造	2 / 1	792.16		電灯設備(電灯幹線、電灯分歧、コンセント分歧)	誘導支援設備(音声誘導装置、インターホン、トイレ呼出)	動力設備(動力幹線、動力分歧)	テレビ共同受信設備	電熱設備	監視カメラ設備	電源保護設備	駐車場管制設備	受変電設備	防犯・入退室管理設備	電力貯蔵設備(直流電源、交流無停電電源)	火災報知設備(自動火災報知、自動閉鎖、非常警報、ガス漏れ)	発電設備	中央監視制御設備	構内情報通信網設備	屋外構内配電線路	構内交換設備	屋外構内通信線路	情報表示設備(出退・情報表示、電気時計)	テレビ電波障害防除	映像・音響設備	昇降機設備	扩声設備	撤去工事	<p>④ 産業廃棄物管理票</p> <p>(財)日本産業廃棄物処理振興センター(http://www.jwnet.or.jp)が運営する「情報処理センター」への登録(電子マネジメント)によりを行うこと。これにより難い場合は監督職員と協議する。</p> <p>⑤ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の提出</p> <p>工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事完了時に同計画書の実施報告書(書式は同一)、CREDASデータ共を監督職員に提出するものとする。</p> <p>⑥ 特定建設資材の再資源化等</p> <p>「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)の届出の有無※届出を要しない(対象工事でない)・届出を要する(対象工事である) 対象建設工事の場合は、分別解体、特定建設資材の再資源化等について適切な処理を行う。</p> <p>(1) 分別解体の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業内容</th> <th>分別解体の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新築工事等</td> <td>建築設備工事</td> <td>手作業</td> </tr> <tr> <td>※ 有</td> <td></td> <td>※ 手作業・機械作業併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 特定建設資材等廃棄物の種類と再資源化等をする施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特定建設資材廃棄物の種類</th> <th>再資源化等をする施設名称</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・コンクリート及び 鉄から成る建設資材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・木材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・アスファルト・コンクリート</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>注(1)、(2)については計算上の条件明示あり、処理施設等を指定するものではない。 受注者の提示する分別解体の方法、施設等異なる場合においても設計変更の対象としない。</p> <p>⑦ 環境性能等</p> <p>使用する機材はトップランナー基準に適合したものであること。</p> <p>⑧ 使用機材の選定</p> <p>工事に使用する機材は、その工事の着手前に、「使用材料(機器)報告書」を監督職員に提出して承諾を受ける。</p> <p>⑨ 地場産品</p> <p>静岡県中小企業の受注機会の増大による地域経済の活性化に関する条例に基づき、地場産品の使用促進を図ることで、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。 受注者は、工事に使用する建設資材等について、契約図面に規定する品質が規格値を満足した地場産品の優先使用に努めること。 「地場産品」とは「県産木材」及び「県産品」をいう。 「県産木材」とは「静岡県産材証明制度要綱」第2条に掲げるものをいう。 「県産品」とは建設資材又は製品等で、県内で最終工事が施されたものをいう。</p> <p>⑩ 機材の検査等</p> <p>使用する機材について、自主検査記録(任意様式)を作成すること。 ただし、別表に掲げる機材については監督職員の検査を受ける。 なお、監督職員の検査の結果、合格した機材と同じ種別の機材は以後原則として抽出検査とする。 また、製造工場等における材料検査を行う工事材料は監督員の指示による。</p> <p>⑪ 排出ガス対策等</p> <p>使用する建設機械は排出ガス対策及び低騒音型とする。</p> <p>⑫ アスベスト分析</p> <p>※ 行わない 行う(箇所) 測定箇所等は監督職員の指示による。</p> <p>⑬ アスベスト粉じん濃度測定</p> <p>※ 行わない 行う(箇所) 測定箇所等は監督職員の指示による。</p> <p>⑭ 検査</p> <p>中間検査・対象工事(実施は中間検査実施基準による)・対象外工事 工事施工における技術検査の実施回数等は監督員の指示による。</p> <p>⑮ 完成図書</p> <p>現場説明書による。</p> <p>⑯ 電子納品</p> <p>電子納品特記仕様書による。 貸与する設計図データの有無(※ 有り・無し) 貸与するCADデータは当該工事のために必要な施工図及び完成図の作成の範囲で使用できる。</p> <p>⑰ 施工計画書</p> <p>提出を要する施工計画書 (1) 総合施工計画書(仮設を含む) (2) 工種別施工計画書</p> <p>⑱ 施工図等の権利</p> <p>施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。</p> <p>⑲ 工事写真</p> <p>国土交通省大臣官房官庁常総部監修の「工事写真の撮り方(平成24年版)一建築設備編」によるほか、監督職員の指示により撮影する。</p> <p>㉑ 监理事務所</p> <p>※ 設けない 設ける(既存建物内的一部を使用する・構内に新設する)</p> <p>㉒ 工事用水電力等</p> <p>本工事に必要な工事用電力・水等は受注者の負担とする。</p> <p>㉓ 工事用仮設物</p> <p>敷地内につくること※できるできない</p> <p>㉔ 電気工事士</p> <p>最大電力500kW以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。</p> <p>㉕ 電気保安技術者</p> <p>電気保安技術者の選定については、標準仕様書のほか監督員が認める者とする。</p> <p>㉖ 発生材の処理</p> <p>(1) 引き出しをするもの() (2) 特別管理産業廃棄物(・PCB使用機器) (3) 再資源化を図るもの(・蛍光ランプ・白熱灯・HID灯) (4) 発生材保管・集積場所が必要なもの() 照明器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離し保管ボックス(鋼板製)に収納して廃物管理者に引き渡す。また、変圧器・コンデンサ等を廃棄しようする場合は、PCB混入の可能性の有無について確認し、混入の可能性が判定・確認できない場合は、POB廃棄物として保管受皿に入れ指定された場所に保管する。 ※ 建設廃棄物の処理にあたっては建設廃棄物処理計画書を提出すること。</p>	工程	作業内容	分別解体の方法	新築工事等	建築設備工事	手作業	※ 有		※ 手作業・機械作業併用	特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所在地	・コンクリート及び 鉄から成る建設資材	・	・	・木材	・	・	・アスファルト・コンクリート	・	・	<p>④ 撤去</p> <p>・撤去前に内容物(発電設備燃料等)の回収をする機器、配管等の処置() ・石綿の撤去(・有り・無し) ・撤去後の補修、復旧()</p> <p>標準仕様書によるほか次による。 (1) 管路を敷設する掘削床は平坦に突き固める。 (2) 埋設し及び盛り土(〇印があるもの) ○根切り土 持込み土() (3) 犁土分松 ※構内敷きなし ・構外搬出 片道運搬距離()km、DID区間(・有り・無し) ・構内指標の場所に堆積 なお、受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としない。</p> <p>⑤ 土工事</p> <p>コンクリート圧縮強度試験 ※ 行わない 行う() ただし、現場での試験を行わない場合は工場での試験成績証を提出すること。</p> <p>⑥ コンクリート工事</p> <p>コンクリートの接地抵抗は、原則として規定値の90パーセント以下との値とする。</p> <p>⑦ 接地工事</p> <p>⑧ 関連する工事との施工区分</p> <p>図面に特記なき場合は「工事区分表」による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。</p> <p>⑨ 機器等の取扱高さ</p> <p>図面に特記なき場合は、表2「機器標準取扱高さ」を標準とし、監督職員との協議の上決定する。</p> <p>⑩ 分電盤、制御盤、配電盤等</p> <p>標準仕様書によるほか次による。 (1) 屋外用の盤は、端子盤及び機器収納箱にあっては600mm、制御盤にあっては800mmをこえる場合は扉は原則として両開きとする。 (2) 銀番は、寸法・重量等を考慮した丈夫なものとし十分な耐久性を保つ構造とする。 (3) 屋外用の盤は浸入しない構造とし、計器窓は網入りガラスとする。 (4) 盤類の塗装は原則として次による。 ア 下地処理(素地こしらえ) ・ 切断面や凹凸などは、塗装の塗り膜厚さが十分得られるように加工し溶接後のスラッシュは完全に除去し、凹凸や歪みは修正して、よごれ・油類・さびなどを除去した後、りん酸塗處理、又はアルミニウム塗装を施す。 (イ) りん酸塗處理鋼板を用いるときは、加工後に剥離又は損傷した処理下地を補修する。 イ 下塗り ・ 中塗りの付着性及び防錆効果の高いプライマー塗装又は電着塗装、粉末塗装等を行う。 凸凹がある場合は、バテ付け等により平らな下地を作る。 ウ 中塗り ・ 上塗りの付着性が良く、平滑仕上げを可能にする塗料により行う。 エ 上塗り ・ 次の区分によって、2回以上の塗布をし、平滑美麗な焼き付け仕上げとする。 (7) 屋内用の盤類は、マレミン樹脂系、アクリル樹脂系、エポキシ樹脂系等で塗膜強度の高い塗料とする。 (8) 屋外用の盤類は、アクリル樹脂系、マレミン樹脂系、ポリエチル樹脂系等で、耐候性塗装、耐薬品性が高く、塗膜強度の高い塗料とする。 なお、塗色は次による。 ※ マンセル 2.5Y1/1 漆色なし () オ 見えかがり以外の部分については、上記 イ のハテ付け等及び エ の工程はこれによらないことができる。 カ 各工程における残留水分は完全に除去して次の工程を行う。 キ 各外形の開閉器類及びブルボックスは、次による。<</p>
建物(棟)名称	構造	階数	延床面積(m ²)	備考																																																					
小嵐保育園	R C 造	2 / 1	792.16																																																						
電灯設備(電灯幹線、電灯分歧、コンセント分歧)	誘導支援設備(音声誘導装置、インターホン、トイレ呼出)																																																								
動力設備(動力幹線、動力分歧)	テレビ共同受信設備																																																								
電熱設備	監視カメラ設備																																																								
電源保護設備	駐車場管制設備																																																								
受変電設備	防犯・入退室管理設備																																																								
電力貯蔵設備(直流電源、交流無停電電源)	火災報知設備(自動火災報知、自動閉鎖、非常警報、ガス漏れ)																																																								
発電設備	中央監視制御設備																																																								
構内情報通信網設備	屋外構内配電線路																																																								
構内交換設備	屋外構内通信線路																																																								
情報表示設備(出退・情報表示、電気時計)	テレビ電波障害防除																																																								
映像・音響設備	昇降機設備																																																								
扩声設備	撤去工事																																																								
工程	作業内容	分別解体の方法																																																							
新築工事等	建築設備工事	手作業																																																							
※ 有		※ 手作業・機械作業併用																																																							
特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所在地																																																							
・コンクリート及び 鉄から成る建設資材	・	・																																																							
・木材	・	・																																																							
・アスファルト・コンクリート	・	・																																																							

電気設備工事特記仕様書													
⑮ 電線保護物類		3 非常警報装置 (1) 非常警報装置 埋込形 露出形 (2) 起動装置 (押しボタン) 埋込形 露出形		工事区分 本工事の施工にあたり各工事の区分は、下記に印を付したものと適用する。		本工事の施工にあたり各工事の区分は、下記に印を付したものと適用する。							
(1) 合成樹脂可とう電線管 (PF管) 及び付属品 ・タイプ25を使用するものとする。 電力用位置ボックス類は、合成樹脂製又は鉄製とする。鋼板製とした場合は管内に接地線を付加し当該ボックスにボンディングを施すものとする。 ただし、これにより難い場合は監督員と協議する。 (2) 金属露出管路 次の管路は、塗装を行う。ただし、溶融亜鉛めっきを施した管路は除く。 (※ 屋外 ※ 配線室を除く屋内に見えがかり部分) (3) ケーブル配線の保護管は、標準仕様書金属配線、合成樹脂管配線の項による。 (4) 弱電設備の管の敷設 ケーブルを収容する管路の1区間の屈曲箇所は3箇所以内で曲げ角度の合計は180°以内とする。ただし、通線及び管内の電線の引き替えが容易に行えるように施工する場合はこの限りではない。		4 ガス漏れ火災警報装置 (1) 受信機 () 回線 予備電源付 (・ 壁掛形 ・ 自立形) 複合盤の場合は図示する (2) 検知器 都市ガス 液化ガス 電源 AC100V DC24V (3) 中継器 確認表示灯 あり なし		NO. 項目 NO. 項目		備考							
⑯ 照明用ボール		別表 名称		88 防火区画貫通ダクト及び配管等の防火装置 89 供連口及び手動開放装置 90 供連ダクト 91 空調、衛生機械2次側配線工事 92 自動火災報知用発信機、ベル表示灯取扱いボックス 93 空調自動制御用電気工事									
⑰ 配線器具		① スイッチは原則としてネーム付きとし、器具の場所を表示する。 (2) フラッシュブレード (Oで囲むもの) ※ 新金属 ステンレス 合成樹脂 (3) フロアプレートは水平高低調整付 (空転防止形または工具付形) とする。 ※ アルミ製 黄銅製 (4) 駆動機回路に接続されるコンセントは、原則として赤色とする。 (5) コンセントには回路番号を表示する。 (6) コンセントの送り配線は送り端子を使用せず、接続によるものとする。		1 仮設用の電力、上下水、ガスの使用料金、及び負担金 2 電気、上水道、下水道、ガス引込み貯留金 3 施設後引き渡しまでの使用料金 4 本設後引き渡しまでの基本料金 5 はり貫通スリーブ (RC造) 6 はり貫通スリーブ (S-SRC造) 7 床、床、貫通スリーブ、消火栓 8 同上貫通部スリーブ補強 9 同上貫通部孔埋め板補修 10 一重スラブ内、連通管及び通風管、水抜き管 11 木切付スリーブ 12 機械基礎 (既体と一体の基礎) 13 独立機械基礎 14 アンカーボルト、箱入れ、チキンネイル土台 15 機械基礎用床補強 16 屋上等防水構造に関する基礎 17 油槽、外部及び基礎 18 工事制作脚仕切、床の丸明け及び補強 19 天井取付器具の取付け 20 天井開口部封止 21 機械器具取付け用板 C型板 22 機械器具取付け用ドロップ構造の開口部取り付け 23 天井吊機器の取付ボルト 24 同上用C型鋼補強 25 機械搬入、搬付用フック 26 電気配線用ビニール蓋 27 壁面軽量コンクリート及び床仕上げ 28 マジンハッチ及び床仕上げ 29 植床 30 外部取付ガラリ 31 リターングリル 32 ドマーグリル 33 点検口及び仕上げ 34 マンホール 35 クラップ 36 市構造及び蓄熱槽の躯体及びマンホール蓋取付 37 房間器具 38 同上レード及び排気ダクト 39 浴室、バスユニット、洗面 40 風呂釜、バーナー、排気筒及び排煙管 41 浴室 (既製品、造り付け) 42 洗面鏡 43 洗面水栓及び配管 44 化粧鏡 45 通気管 46 グリーストラップ 47 壁面軽量コンクリート 48 洗面溝及びフタ 49 壁排水工事 (目皿共) 50 屋上排水溝及び蓋 51 雨水排水工事及び会所 52 雨水排水工事及び会所 53 雨水排水工事及び会所 54 下水管への接続 (雨水) 55 同上 56 電気引込みハンドホール 57 電気引込みハンドホール 58 電気配管客土及び排水層 59 節水栓 60 敷地工程 61 ガリソントラップ 62 出入口マット排水管 (第一会所まで) 63 機器運動防火防煙システム (二次配管配線共) 64 機器運動耐燃垂れ壁 (二次配管配線共) 65 機器運動耐燃火戸 (二次配管配線共) 66 防火ダンパー (二次配管配線共) 67 防火垂れ壁 68 エンジニアード 69 電動シャッター 70 エバーティー 71 エアカラーティー 72 グラウエーター 73 エアショーター 74 コードラバ及び剥離剤共一式 75 霧氣噴霧 76 取付用地下地補強及び基盤 77 雨水計及び接地工事 78 雨水計 79 排気扇等取付枠 80 電源工事各種鉄板 81 機械器具表示板 82 リンシーラー (自然換気) 83 し尿浄化槽設置工事 84 し尿浄化槽RC造躯体及び防音工事 85 機械器具 86 機械器具及び制御装置 87 舞台裏									
⑰ 屋外の支持金物		電線管等の屋外支持金物は、原則として次による。 ※ ステンレス製 亜鉛メッキ											
⑲ 機器姿図		姿図の形状及び寸法は概略を示す。											
電力・発電設備工事		① 防災用照明器具 建築基準法の規定による非常用照明器具は次による。(Oで囲むもの) ○ 電池内蔵形 電源別置形 (バッテリー・発電機)		表1 接地極一覧表		④ 印の付いたものを適用する。							
② 電動機等の接地		金属配線において、電動機容量7.5 kW以下は金属管を接地線とする。		表2 機器標準取付高さ		注) E-D=1の場合はL=1500とし、W=40の場合はL=1200、W=30の場合はL=900とする。							
③ 受変電設備		受変電キューピクル本体の耐震性は、JEM-TR144(配電盤・制御盤の耐震設計指針2003年版)(一般社団法人日本電機工業協会)における耐震機能クラス1とする。		接地極の種類 配号 接地抵抗 接地極の規格・数量									
④ 雷保護設備		(1) 保護レベル I II III ※ IV (2) 受雷部システムの配置 保護角法 回転球体法 メッシュ法		・ 共同接 地 E-A・B・C・D 0Ω以下 EB(0=14又はW=40)×3連一組 ・ 共 同接 地 E-A・C・D 10Ω以下 EB(0=14又はW=40)×3連一組 ・ A 種 E-A 0Ω以下 EB(0=14又はW=40)×3連一組 ・ B 種 E-B 0Ω以下 EB(0=14又はW=40)×3連一組 ・ C 種 E-C 37.5~75Ω EB(0=14又はW=40)×3連一組 ・ D 種 E-D 10Ω以下 EB(0=14又はW=40)×3連一組 ・ D 種 E-D 100Ω以下 EB(0=10又はW=30)×1連一組 ・ 雷 保 護 用 E-LA Ω以下 EB(0=14又はW=40)×連一組 ・ 高 壓 避 雷 器 E-LH 10Ω以下 EB(0=14又はW=40)×3連二組 ・ 低 壓 避 雷 器 E-L 10Ω以下 EB(0=14又はW=40)×3連二組 ・ 交 换 器 用 E-AT 10Ω以下 EB(0=14又はW=40)×3連二組 ・ 通 電 器 用 E-DT 100Ω以下 EB(0=10又はW=30)×1連 ・ 測 定 用 E-o 100Ω以下 EB(0=10又はW=30)×1連 ・ 構 造 体 接 地 Ω以下 EB(0=10又はW=30)×1連 ・ 等 位 位 接 地 Ω以下									
⑤ 太陽光発電設備		太陽光発電設備特記仕様による。		名 称									
⑥ 主燃料槽		主燃料槽は満油溝とす。		⑤ 印の付いたものを適用する。									
⑦ 太陽光発電設備		(1) 電力会社に対して必要な申請手続き(書類作成を含む)を行うこと。 (2) 電気事業法に係る手続きが必要となる場合には電気主任技術者と協力しを行うこと。 (3) 対応系統との連系について電力会社と協議・確認を行なうこと。 (4) 屋上に設置する太陽電池アレイの耐風圧計算・耐震計算を提出し監督員の確認を受けること。 (5) 手取後速やかに当該機器でのシステム構成図を提出し監督員の確認を受けること。 (6) 太陽電池アレイの公称出力 (kW) (7) パワーコンディショナの出力 出力電圧 (100V 200V) 出力電気方式 (三相3線式 単相3線式 単相2線式)		注) E-D=1の場合はL=1500とし、W=40の場合はL=1200、W=30の場合はL=900とする。									
通信・情報設備工事		① 構内情報通信網設備 学校については校内LAN工事特記仕様による。		接地極の種類 配号 取付高さ (mm) 名称 測定 取付高さ (mm)									
② テレビ共同受信装置		(1) テレビ機器収容箱 ブースターを収容する収納箱は、露出コンセント (2P1A 2口) を内蔵し、扉には放熱に有効なガラリ等を備えたものとする。 (2) アンテナマスト ○ 自立形 壁面形 標準図のAの寸法 (mm)		表1 接地極一覧表		注) E-D=1の場合はL=1500とし、W=40の場合はL=1200、W=30の場合はL=900とする。							
防災設備工事		① 自動火災警報装置 (1) 受信機 R型 ○ P型 (1)級 (10)回路 予備電源付 (○ 壁掛け 自立形) 複合盤の場合は図示する。 (2) 計算機 表示器数 () 窓 (・ 壁掛け 自立形) (3) 発信機 R型 ○ P型 (1)級 () 形 (4) 機器収納箱 ○ 埋込形 露出形 消火栓箱込形 (5) 消火栓ポンプ始動用表示灯 専用 ※ 火報と兼用 標準図のAの寸法 (mm)		表2 機器標準取付高さ		注) E-D=1の場合はL=1500とし、W=40の場合はL=1200、W=30の場合はL=900とする。							
② 自動閉鎖装置		(1) 運動制御器 (1)回線 (複合盤の場合は図示する。) (2) 動作仕様 ア 作動方式 多回線順次動作 単独作動 イ 防爆ダンパー 手動復帰 逆方復帰		接地極の種類 配号 取付高さ (mm) 名称 測定 取付高さ (mm)		注) E-D=1の場合はL=1500とし、W=40の場合はL=1200、W=30の場合はL=900とする。							
<p align="center">設計書・設計図面の取扱いについて</p> <p align="center">※ 設計書と設計図面に相違のある場合には、 設計図面を優先することとする。</p> <p align="center">※ 設計図面に記載のある内容を施工するために 必要なものは、工事に含めることとする。</p>													

凡 例		
記 号	名 称	備 考
■	電灯分電盤	
■	電灯・動力分電盤	
S	手元開閉器盤	
◎ IP	吸引コントローラー3P1E30A×1(250V) 防水型(引掛防水ゴムキャップ付)	
● L	スイッチ 1P15AX1 確認表示灯付	
● 24	スイッチ 1P15AX1 確認表示灯付 24時間用表記	
● 24	スイッチ 1P15AX1 確認表示灯付 24時間用表記・強弱選択切替付	
□	電動操作箱スイッチ(ON, OFF表示灯付)	
— ED	接地工事	
— ZZ	防火区画貫通処理	
— — —	天井いんべい配線	
— — —	床いんべい配線	
— — —	露出配線	
— — —	天井ころがし配線	
— — —	立上げ、素通り、引下げ	
□	アウトレットボックス	
☒	ブルボックス	

注 記

1. 特記なき配管配線は下記の通りとする。
 EM-EFF 2, 0~3C 保護管 (PF22)
 EM-EFF 1, 6~3C 保護管 (PF22)
 EM-CE 3, 5P~4C 保護管 (PF22)
 EM-CE 5, 5P~4C 保護管 (PF28)
 EM-CE 3, 5P~4C (G22)
 EM-CE 5, 5P~4C (G28)
 EM-CE 8P~4C (G28)
 EM-CE 14P~4C (G36)
 EM-CE 22P~4C (G36)

2. 立上げ引下げ箇所は配管にて保護すること。

3. 防火区画、防火上主要な耐火寸壁、界壁区画の貫通箇所は国土交通大臣認定による防火区画貫通処理を行うこと。

4. 外壁に取付ける器具及びボックス類は防露措置を施すこと。

5. 分電盤より予備回路分の空配管を天井内に1m突出すること。

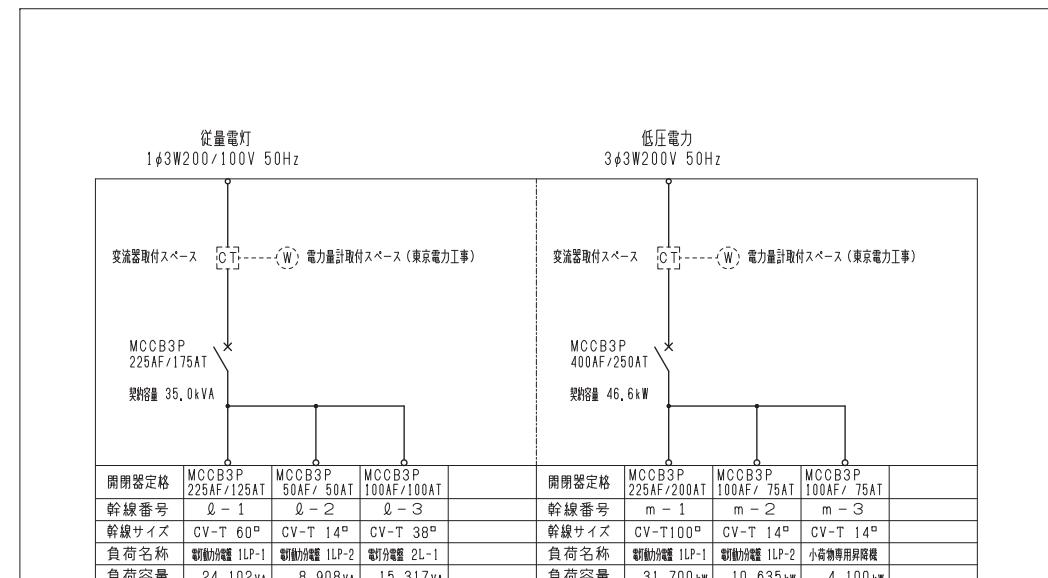
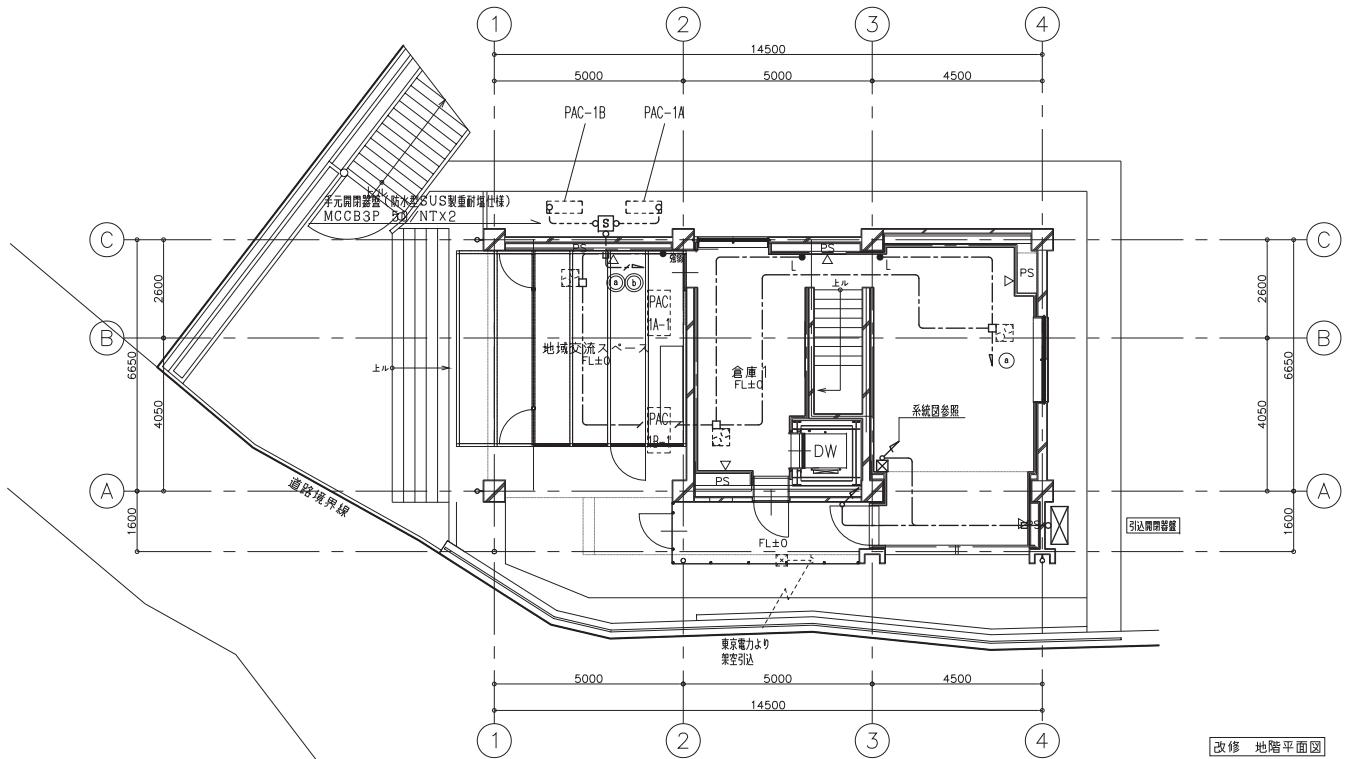
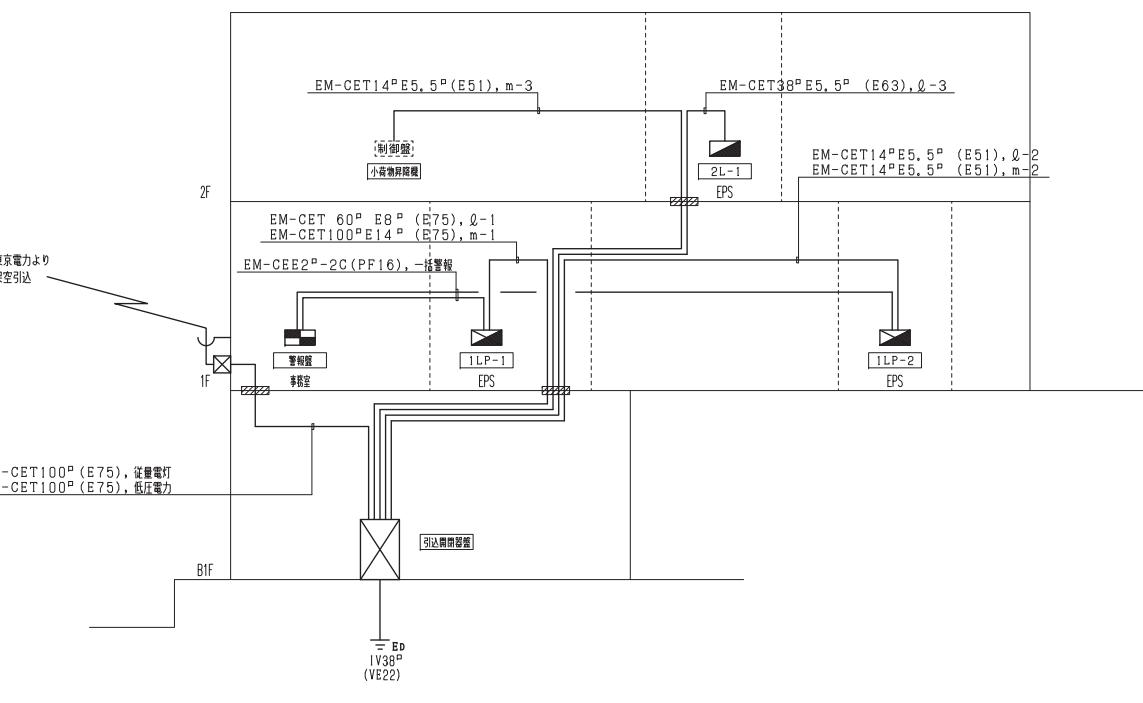
6. 電動機への接続部分は金属製可とう電線管にて接続すること。

7. 電気設備は建築基準法第32条に適合すること。

8. 電気設備については原則として「電気事業法第39条第1項及び第56項 第1項で定める電気設備に関する技術基準を定める省令」の規定に基づき、設計・工事を行うこと。

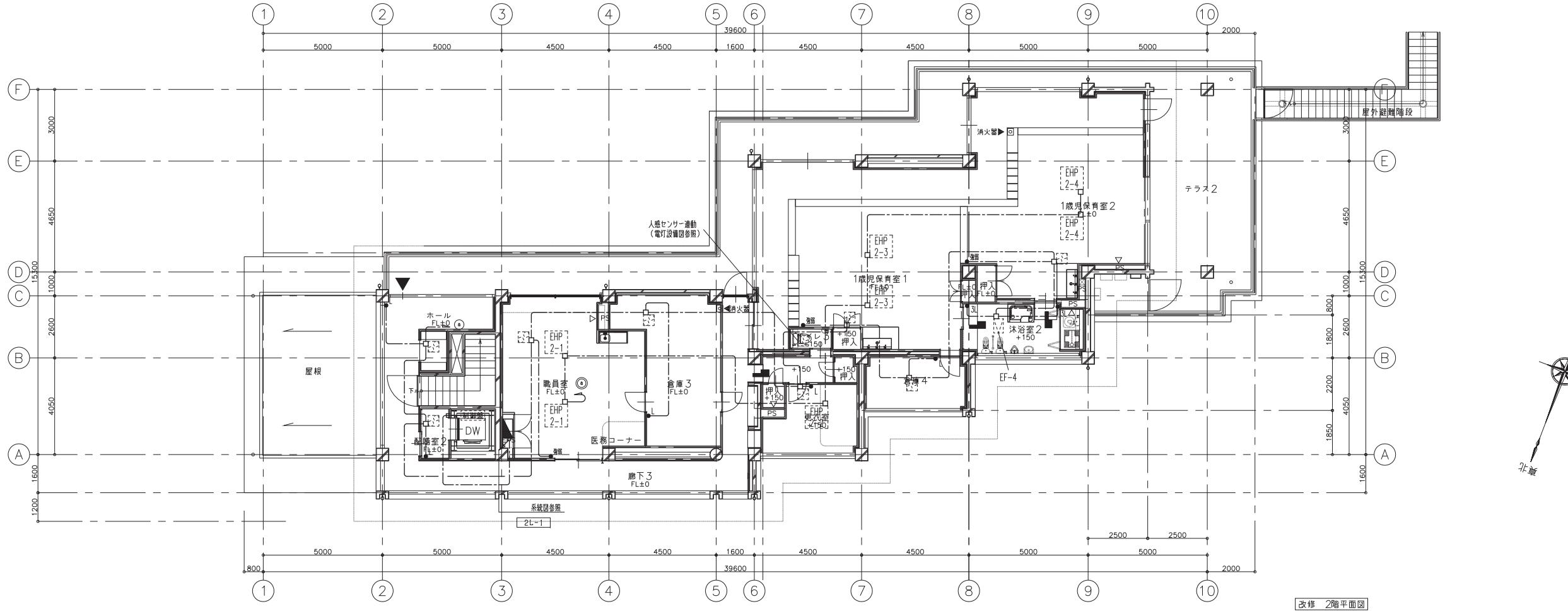
9. 電気設備の設置については令129条の2の4及び平12建告1388号に適合すること。

10. 既存コンクリートにスリープ及びはつる際、必ず鉄筋探査を行うこと。



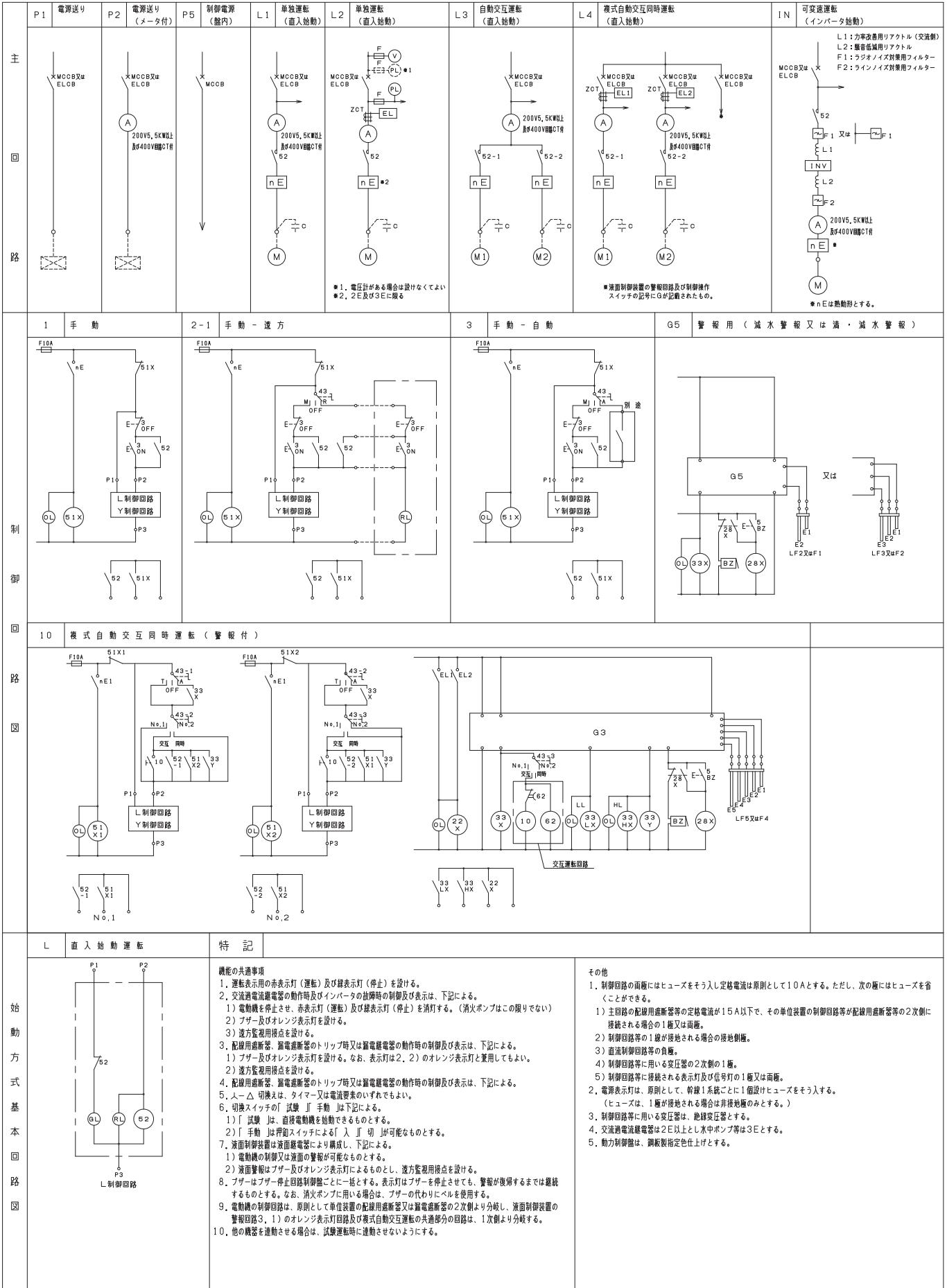
幹線・動力設備 地階平面図 S=1/100

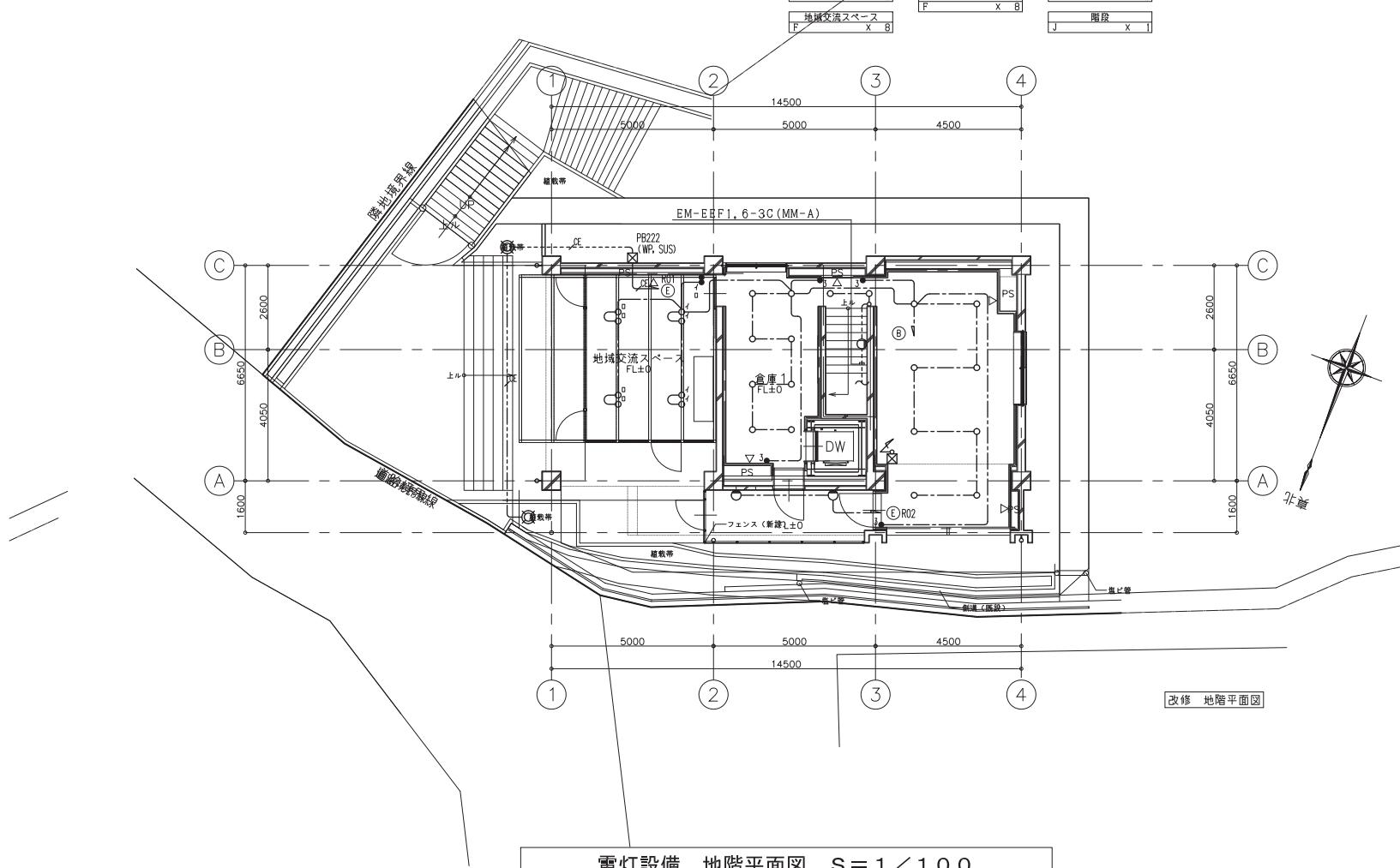
引込開閉器盤結線図



幹線・動力設備 2階平面図 S=1/100

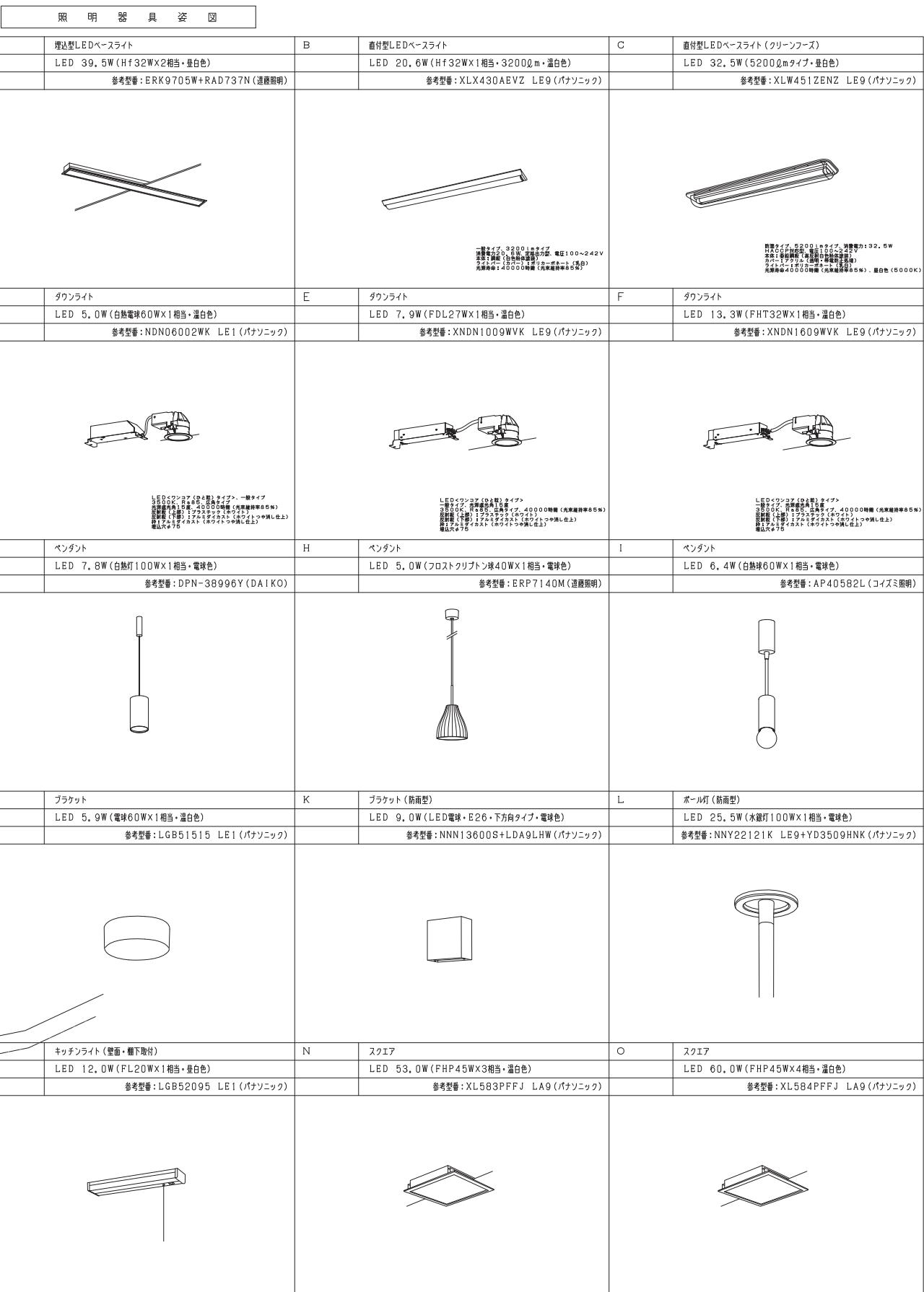
動力盤リスト																		
盤名 電気方式	幹線記号 盤内結線	負荷		開閉器容量			起動方式	二次配線配管	結線記号	動力制御盤	事務室警報盤	備考						
		機器番号	機器名称	容量 [kW]	ELB MCCB MB	P	AF	AT	主回路	操作回路	連動回路	作業表示	故障表示	非常停止	操作表示	故障表示	非常停止	
ILP-1	m-1	EHP-1	ビル用マルチエアコン室外機	17.200	ELCB	3	225	125	L	EM-CE22 ^b -4C (G36)	P1	○	---	---	○	---	一括警報	
AC 3φ3W 200V (屋内自立型) (鋼板製指定色) (分電盤一体型)	MCCB3P 225AF/200AT	EHP-2	ビル用マルチエアコン室外機	14.500	ELCB	3	100	100	L	EM-CE14 ^b -4C (G36)	P1	○	---	---	○	---		
																	計31.70 kW	
ILP-2	m-2	EF-1 [1]	排気ファン	0.750	ELCB	3	50	20	L	EM-CE 3,5 ^b -4C (PF22)	L1 2-1	○	○	○	○	---	○	一括警報
AC 3φ3W 200V (屋内自立型) (鋼板製指定色) (分電盤一体型)	MCCB3P 100AF/75AT	OF-1 [2]	給気ファン	0.750	ELCB	3	50	20	L	EM-CE 3,5 ^b -4C (PF22)	L1 3 ←	○	○	○	○	---	○	
		[3]	食器洗浄機	4.535	ELCB	3	50	20	L	EM-CE 3,5 ^b -4C (PF22)	P1	○	---	---	○	---	○	
		[4]	消毒保管庫	4.600	ELCB	3	50	20	L	EM-CE 3,5 ^b -4C (PF22)	P1	○	---	---	○	---	○	
			制御電源		MCCB	2	50	20										計10.64 kW



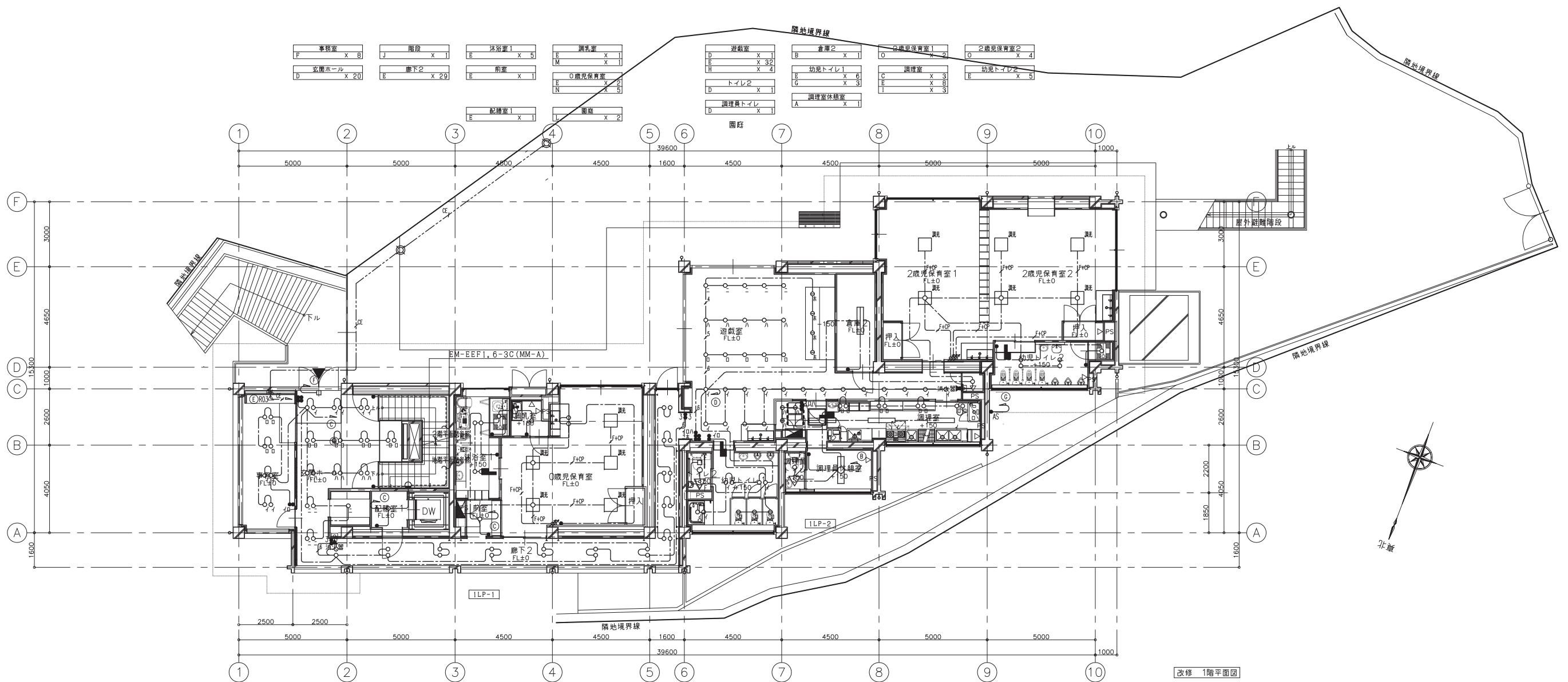


凡 例		
記 号	名 称	備 考
■	電灯分電盤	
■	電灯動力分電盤	
—○—	LED灯 天井付	
○	ダウンライト	
○	ペンダント	
○	ボールライト	
○	ブラケット	
□	スクエア	
◎	セレクタースイッチ	
▽	人感センサー	
▽f	人感センサー	換気扇連動
●ks	自動合誠器	
—	天井いんべい配線	
—	床いんべい配線	
—	露出配線	
—	天井こるがし配線	
—○—	立上げ、素通り、引下り	
□	アウトレットボックス	傍記WPは新入壁フレート付
☒	ブルボックス	

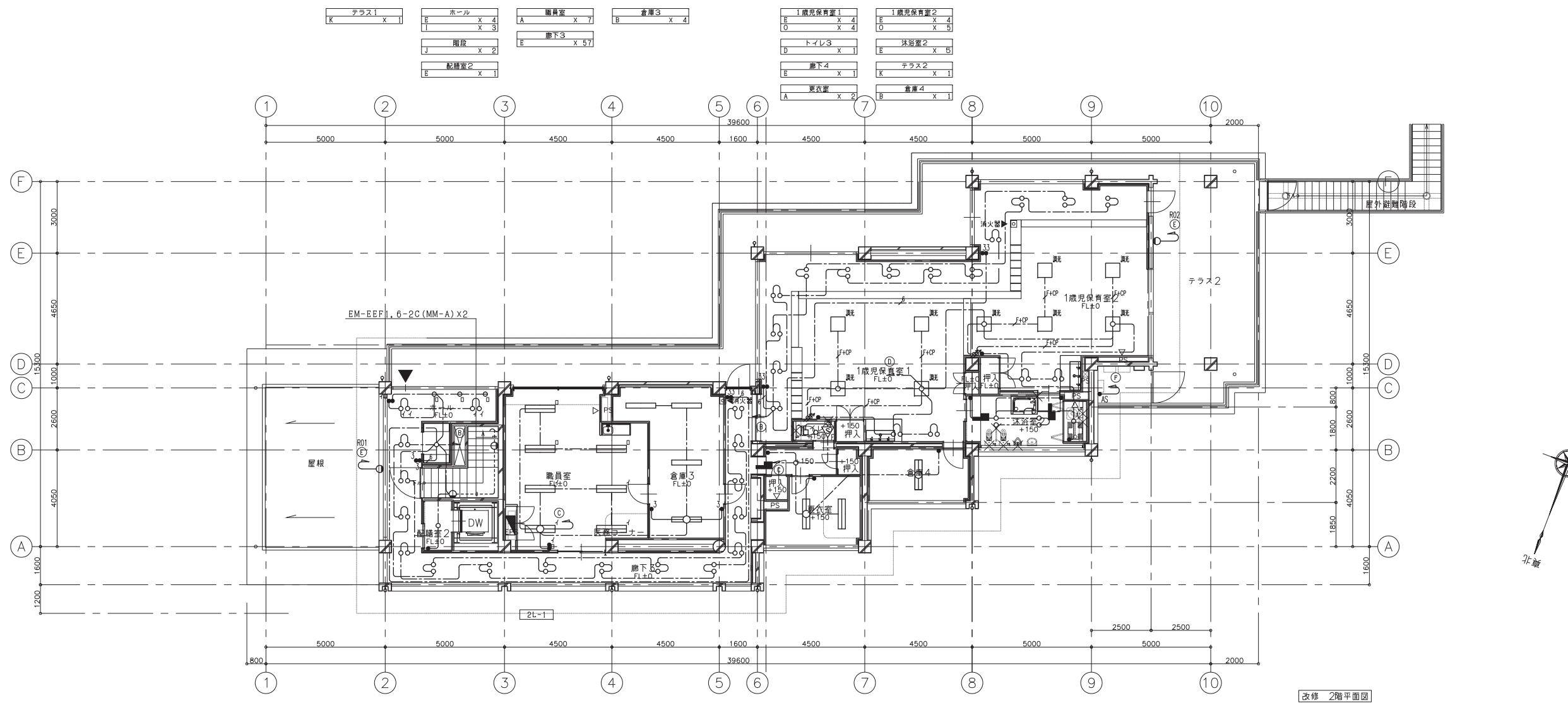
1. 特記なき配管配線は下記の通りとする。
 EM-EFF 2.0-3C 保護管 (PF22)
 EM-EFP 1.6-3C 保護管 (PF22)
 EM-CE 2.0-3C 保護管 (PF22)
 EM-CE 1.6-3C (G22)
 EM-CE 1.6-3C (FEP30)
 EM-CPEES 0.9-3P 保護管 (PF16)
 EM-EFP 2.0-3C 保護管 (PF28)
 EM-CPEES 0.9-1P
 2. 立上げ引下げ部は、配管にて保護すること。
 3. 防火区画及び防火上主要な間仕切り壁の貫通部は、国土交通大臣認定による
区画貫通処理を行うこと。
 4. 調理室エリアに設置する機器は、防塵パッキン・シール等で防塵措置を施すこと。
 5. 外壁に取付ける器具及びボックス類は、防露措置を施すこと。
 6. 植栽帯に設置されるボールライトは、各々に接地工事を行うこと。
 7. 分電盤より予備回路分の空配管を天井内に1m突き出しこと。
 8. スイッチは全てスームスイッチとする。
 9. 分電盤より第1ボックスまでの距離が30mを超過するケーブルは
凡例のEM-EFP2.0mmを5.5Pと読み替えること。
 10. 分電盤間(1LP-1, 1LP-2, 2L-1)を
EM-CPEES0.9-3Pで配線すること。
 11. 参考型番は、相当品とする。
 12. 既存コンクリートにスリーブ及びはつる際、必ず鉄筋探査を行うこと。



*1 参考型番は、相当品とする。



電灯設備 1階平面図 S=1/100



電灯設備 2階平面図 S=1/100

凡例

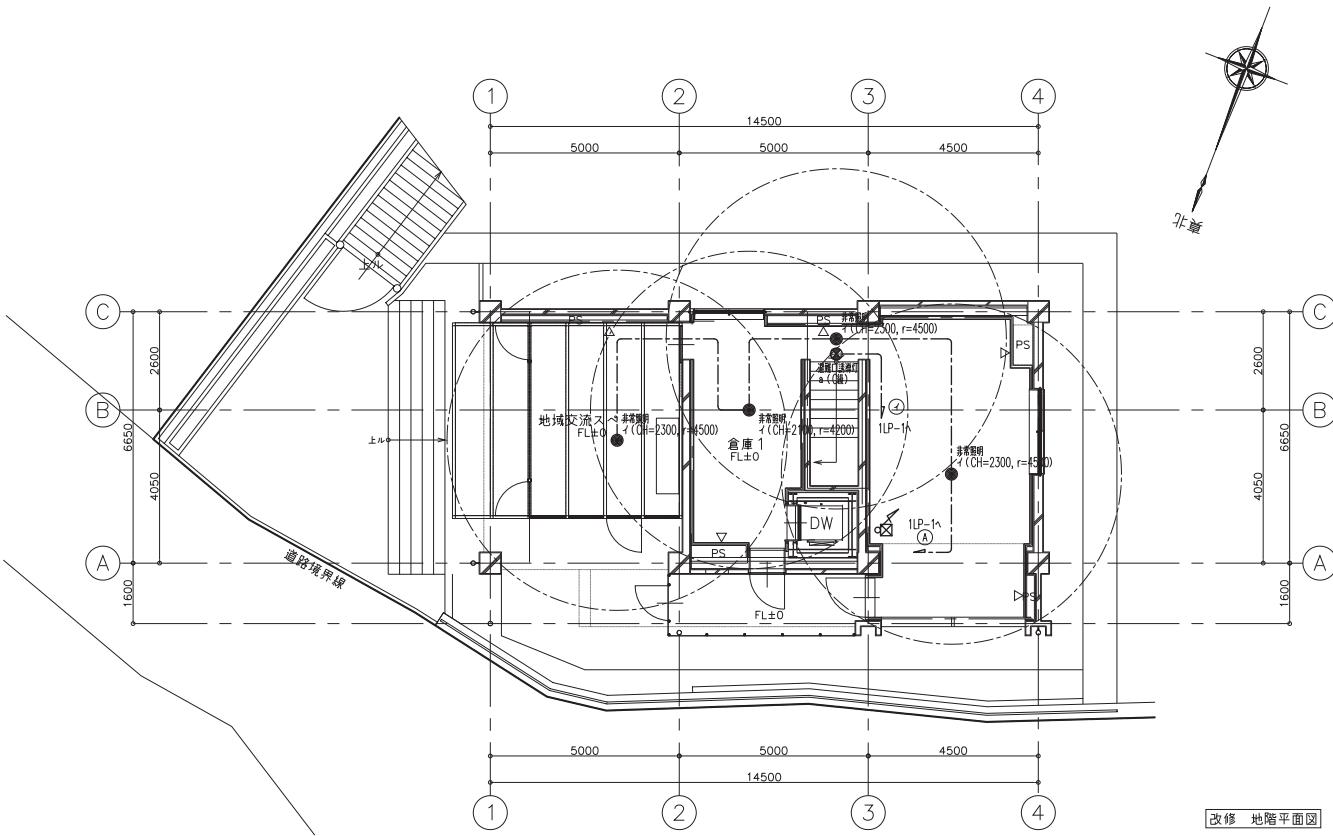
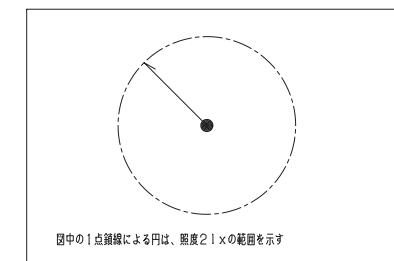
記号	名 称	備 考
■	電灯分電盤	
■	電灯動力分電盤	
●	非常照明	LED
◎	避難口誘導灯	
◎	通路誘導灯	片面型(矢印の向きは、避難方向を示す)
—	天井いんべい配線	
—	床いんべい配線	
—	露出配線	
—	天井こうじ配線	
↑↓	立上げ、未通り、引下げ	
□	アウトレットボックス	
☒	ブルボックス	

注記

1. 特記なき配管線は下記の通りとする。
 EM-EFP 2.0-3C 保護管(PF22)
 EM-EFP 1.6-3C 保護管(PF22)
 MM-A EM-EFP 1.6-3C (MM-A)
2. 立上げ引下げ部は、配管にて保護すること。
3. 防火区画及び防火上主要な構造切り壁の貫通部は、国土交通大臣認定による区画貫通処理を行うこと。
4. 調理室エリアに設置する機器は、防塵パッキン・シール等で防塵措置を施すこと。
5. 非常用照明器具の遮断器位置は、主遮断器の二次側とし
通常主遮断器は、遮断しないものとする。
6. 非常用照明器具の構造は、昭45建告1830号に適合すること。
7. 誘導灯の遮断器位置は、主遮断器の一次側とし専用電源とする。

避難口・誘導灯 有効範囲

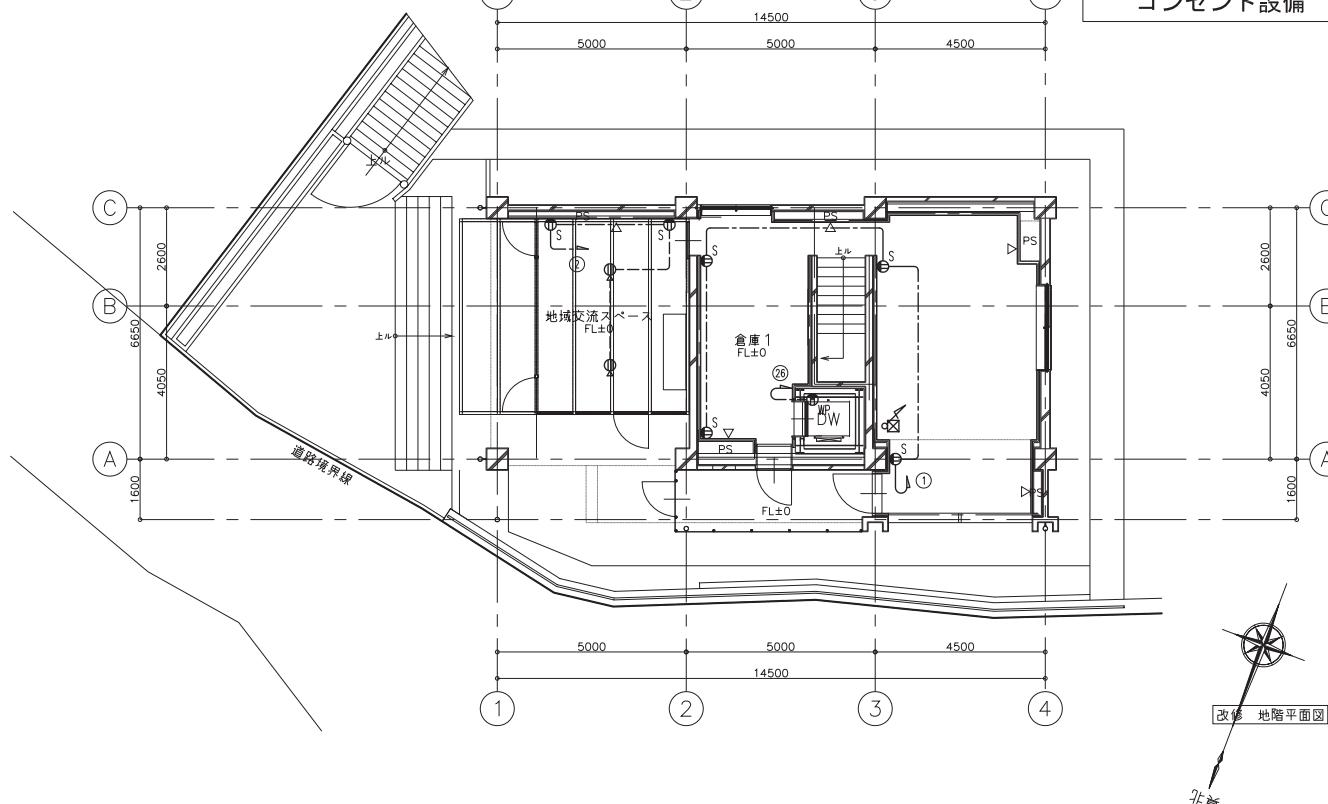
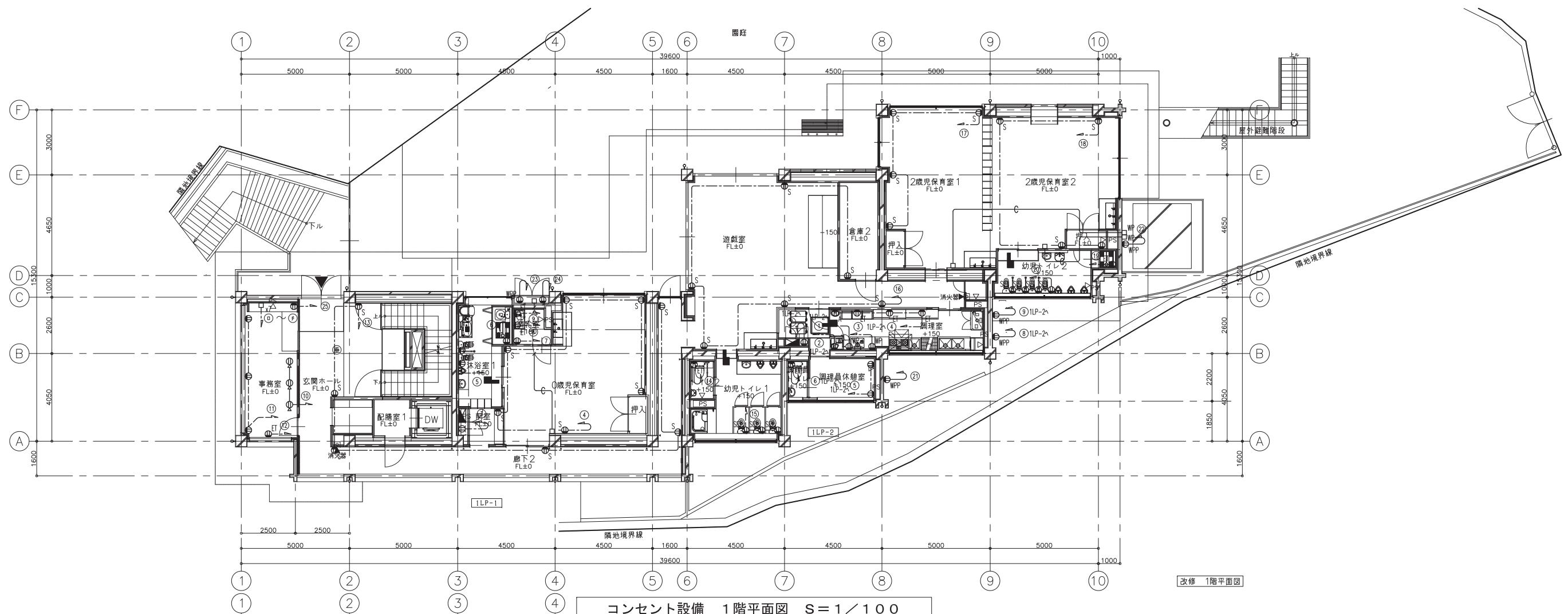
区分	距 離	
	避難方向を示すシンボルのないもの	避難方向を示すシンボルのあるもの
避難口B級	30m	20m
避難口C級	15m	—
通路 B級	—	15m
通路 C級	—	10m



非常照明・誘導灯設備 地階平面図 S=1/100

照 明 器 具 姿 図

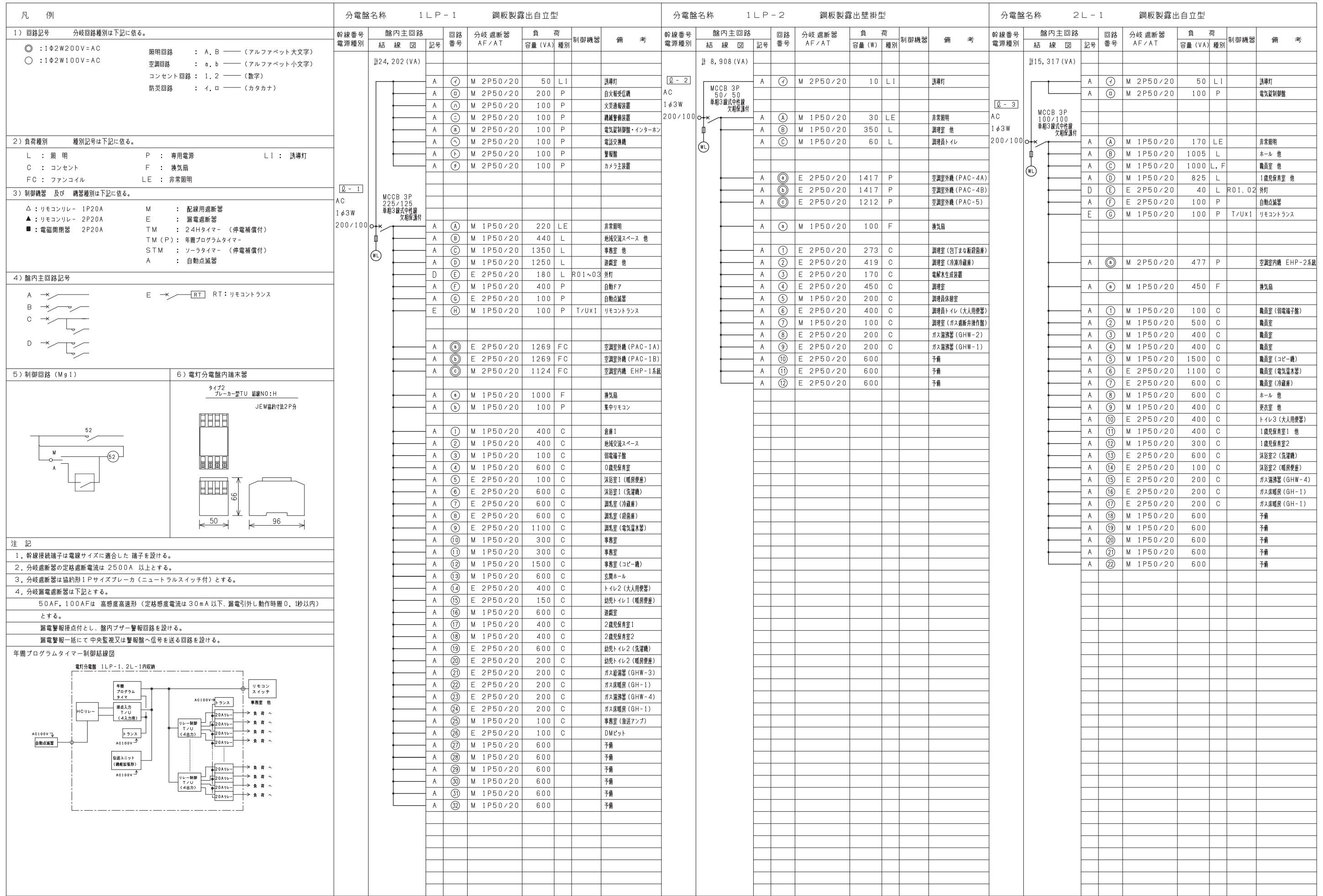
イ	非常照明(底天井用) LED(蓄電池内蔵型) 公共施設番号: K1-LRS11-2 国土交通大臣認定番号: LAE-0044 非常灯評定番号: D-LALH-41	□	非常照明(底天井用) LED(蓄電池内蔵型) 公共施設番号: K1-LSS11-2 国土交通大臣認定番号: LAE-0044 非常灯評定番号: D-LALH-41	ハ	非常照明(クリーンフーズ) LED(蓄電池内蔵型) 公共施設番号: K1-LSS11-2 国土交通大臣認定番号: LAE-0118 非常灯評定番号: D-LALH-99
	蓄電池内蔵型		蓄電池内蔵型		蓄電池内蔵型
■ 非常用照明配置表	器具取付高さ(m) 2.1 2.2 2.4 2.6 3.0 3.4 単体配置 A1 4.2 4.4 4.6 4.7 4.9 4.8 直線配置 A2 9.3 9.6 10.2 10.8 11.9 12.8 四角配置 A4 7.4 7.7 8.2 8.7 9.6 10.5	■ 非常用照明配置表	器具取付高さ(m) 2.4 2.6 2.8 3.0 3.2 3.4 単体配置 A1 4.6 4.7 4.8 4.9 4.9 4.8 直線配置 A2 10.2 10.8 11.3 11.9 12.4 12.8 四角配置 A4 8.2 8.7 9.1 9.6 10.1 10.5	■ 非常用照明配置表	器具取付高さ(m) 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 単体配置 A1 4.1 4.3 4.3 4.4 4.5 4.5 直線配置 A2 9.1 9.5 9.8 10.1 10.3 10.6 四角配置 A4 7.4 7.7 7.9 8.2 8.4 8.6
a	避難口誘導灯 LED(蓄電池内蔵型) 公共施設番号: SH1-FBF20-C(C基)	b	通路誘導灯 LED(蓄電池内蔵型) 公共施設番号: ST1-FBF22-C(C基)		
	蓄電池内蔵型		蓄電池内蔵型		蓄電池内蔵型



凡 例		
記 号	名 称	備 考
■	電灯分電盤	
■	電灯動力分電盤	
●	埋込コンセント 2P15AEx2	
●S	埋込コンセント 2P15AEx2	屋外
●ET	埋込コンセント 2P15AEx2+ET	
●SET	埋込コンセント 2P15AEx2+ET	屋外
●A	埋込コンセント 2P15A×2	自動水栓用
●WP	埋込コンセント 2P15AEx2+ET	防水型
●WPP	埋込コンセント 2P15AEx1+ET	防水入線カバー付
○	フロア用コンセント 2P15AEx2	
●	埋込コンセント 2P20AEx1	250V
〔 〕	露出コンセント 2P15AEx2+ET	端子盤内取付
—	天井いんべい配線	
—	床いんべい配線	
---	露せ配線	
—	天井こうがし配線	
↑ ↓	立上げ、素通り、引下げ	
□	アウトレットボックス	傍記WPは防雨入線プレート付
▣	ブルボックス	

注 記	
1. 特記なき配管路線は下記の通りとする。	
EM-EEF 2.0-3C 保護管 (PF22)	
EM-EEF 1.6-3C 保護管 (PF22)	
— 空配管	
2. 立上げ引下部は、配管にて保護すること。	
3. 防火区画及び防火上主要な耐仕切り壁の貫通部は、国土交通大臣認定による区画貫通処理を行うこと。	
4. 調理室エリアに設置する機器は、防塵パッキン・シール等で防塵措置を施すこと。	
5. 外壁に取付ける器具及びボックス類は、防雨措置を施すこと。	
6. 分電盤より予備回路分の空配管を天井内に1m突き出しすること。	
7. 既存コンクリートにスリーブ及びビスの際、必ず鉄筋探査を行うこと。	
7. 1階事務室給水管スペースの回路は、下記とする。	
① 自火報受信機	EM-EEF2.0-3C (PF22)
② 火災通报装置	EM-EEF2.0-3C (PF22)
③ 機械警報装置	EM-EEF2.0-3C (PF22)
④ 電気錆制御盤・インターホン	EM-EEF2.0-3C (PF22)
⑤ 電話交換機	EM-EEF2.0-3C (PF22)
⑥ 警報盤	EM-EEF2.0-3C (PF22)
⑦ カメラ主装置	EM-EEF2.0-3C (PF22)

コンセント設備 地階平面図 S=1/100



凡 例		
記 号	名 称	備 考
[]	弱電端子盤	
[PBX]	電話交換機	
[火通]	火災通報装置	別途工事
[機警]	機械警備装置	別途工事
①△	デジタル多機能電話機	卓上型
①○	デジタルコードレス電話機	
[電話]	コードレス電話機用基地局	
○	壁付電話用アダプタ	6極4芯×1
○	床付電話用アダプタ	6極4芯×1
[情報]	情報用アクセスポイント	8極8芯×1
○	壁付情報用アダプタ	6極4芯×1
○	床付情報用アダプタ	
○	壁付テレビ用アダプタ	
▽	増幅器	
△	4分岐器	
□	6分配器	
-W-	終端抵抗	
▨▨▨	防火区画貫通処理	
———	天井いんべい配線	
----	床いんべい配線	
-----	露出配線	
———	天井こうろぎし配線	
↙ ↘ ↙ ↘	立上げ、素通り、引下げ	
□	アダプタボックス	
☒	ブルボックス	

注 記

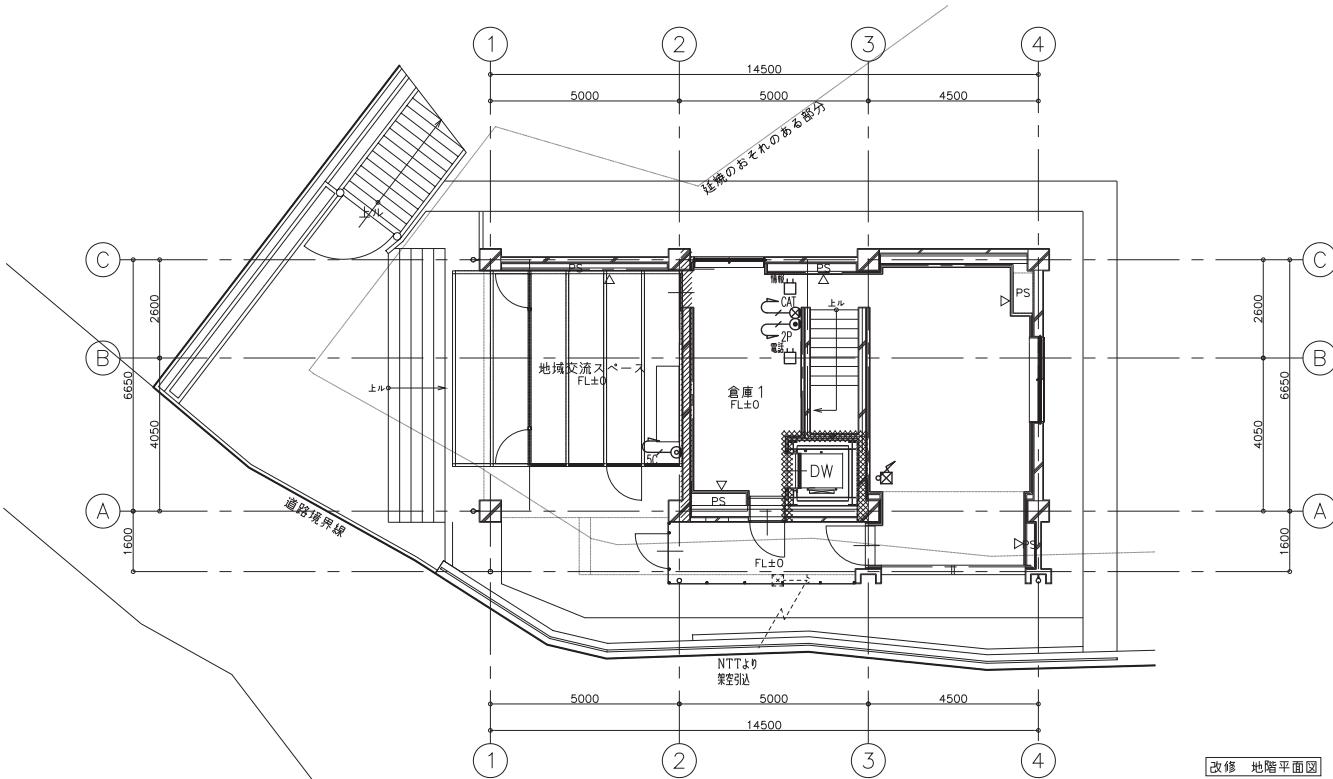
1. 特記なき配管配線は下記の通りとする。

電話設備
 ——2P EM-CPEEO. 65-2P 保護管 (PF22)
 ——2P EM-CPEEO. 65-2P (PF22)
 ——C 39x2 空配管 (E39) ×2

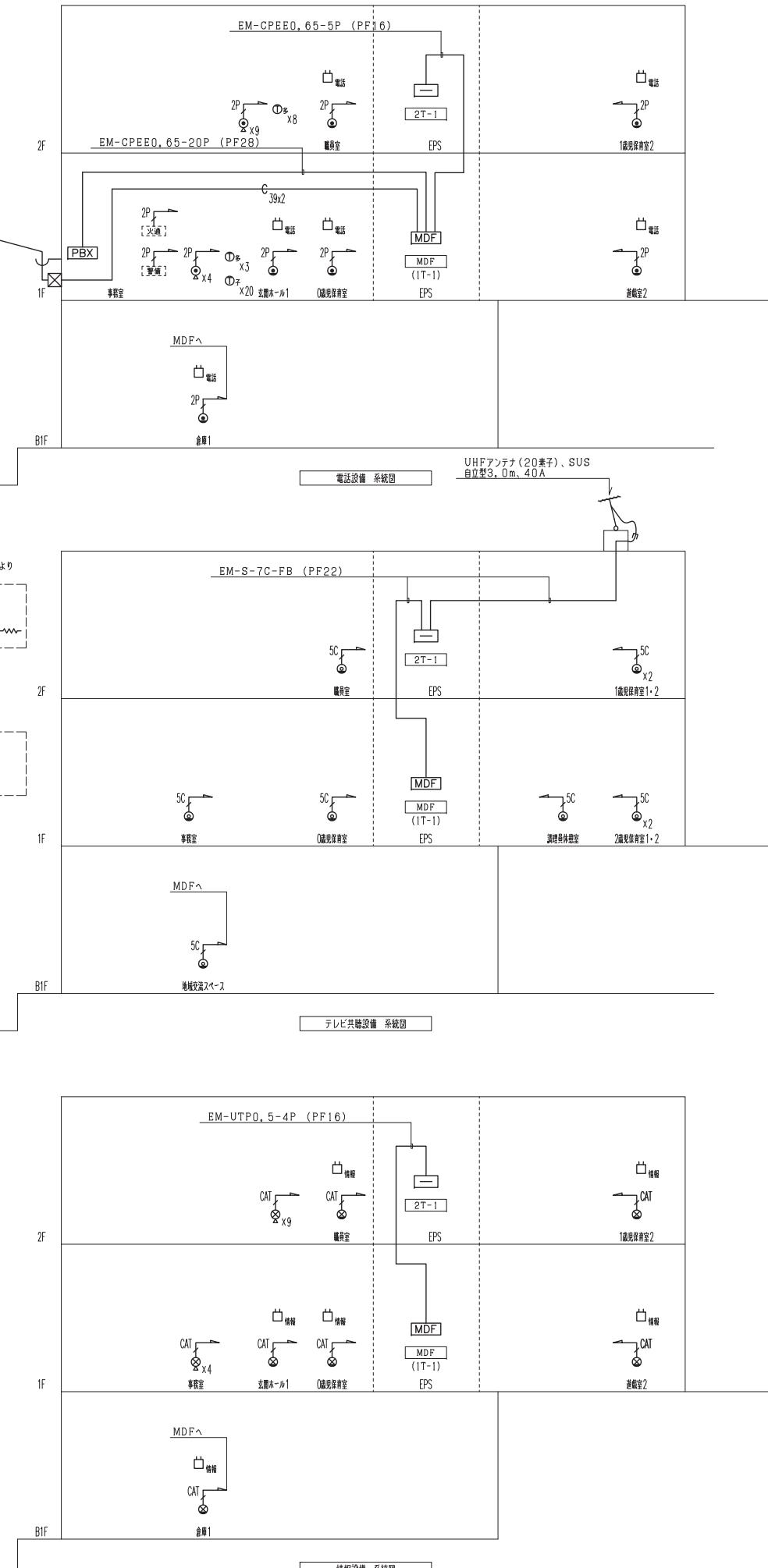
情報設備
 ——U EM-UTPO. 5-4P 保護管 (PF22)
 ——U EM-UTPO. 5-4P (PF22)
 (カテゴリー6対応とする)
 TV共聴設備
 ——2P EM-S-5C-FB 保護管 (PF16)
 ——5C EM-S-5C-FB (PF16)
 ——7C EM-S-7C-FB 保護管 (PF22)
 ——7C EM-S-7C-FB (PF22)

2. 立上げ引下げ部は、配管にて保護すること。
 3. 防火区画及び防火上主要な箇所切り壁の貫通部は、国土交通大臣認定による区画貫通処理を行うこと。
 4. ブルボックスは、各設備毎にセパレータを設けること。
 5. 外壁に取付けける器具及びボックス類は、防露措置を施すこと。
 6. 既存コンクリートにスリーブ及びはつる際、必ず鉄筋探査を行うこと。

[PBX] 電話交換機の機器構成	
1. 機器構成	
1) 電話主装置	1台
2) デジタル多機能電話機	11台
3) コードレス電話機	20台
4) コードレス電話機用アンテナ	6台
5) 外部取容数	
1 SDN (2回線)、アナログ回線 (4回線)	
IP電話 (16回線)	
6) システム連動	
電気録、ドアホン、放送	



弱電設備 地階平面図 S = 1 / 100



凡例

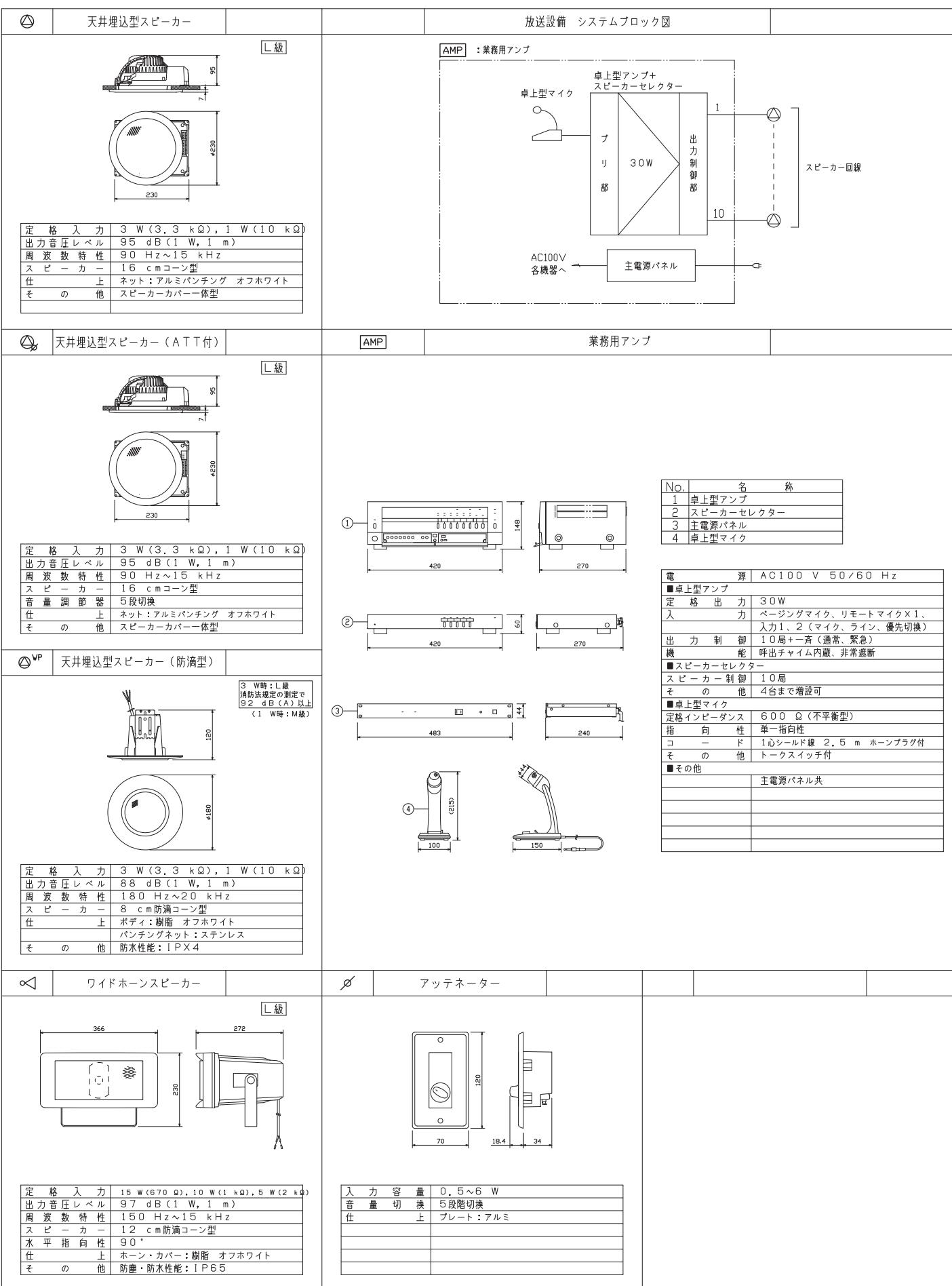
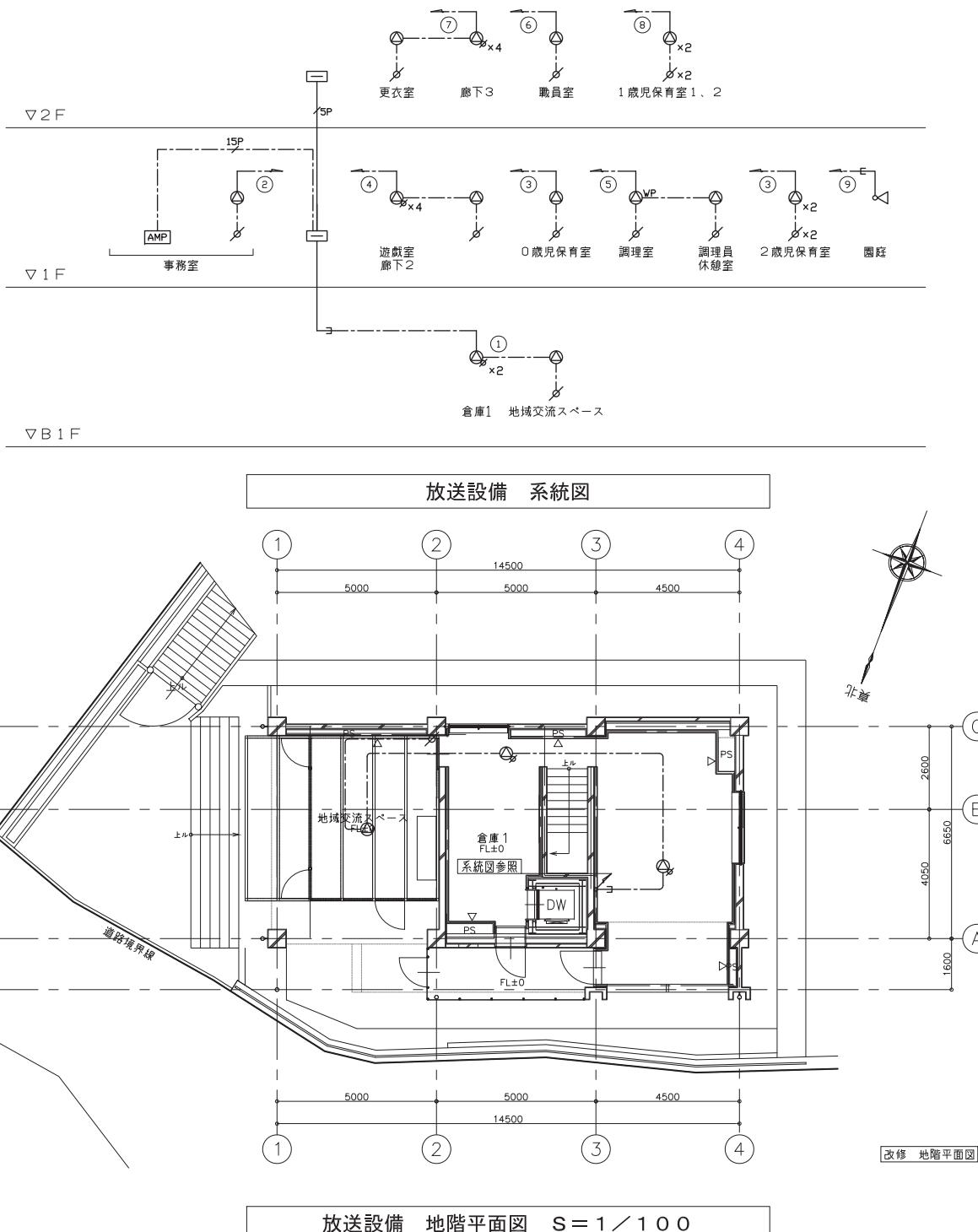
記号	名 称	備 考
□	弱電配線	
AMP	業務用アンプ	
◎	天井埋込型スピーカー	
◎WP	天井埋込型スピーカー(防滴型)	
△	ワイドホーンスピーカー	
○	アッテネーター	
◎	業務放送系統番号	
—	天井いんべい配線	
- - -	床いんべい配線	
- - -	露出配線	
- - -	天井ころがし配線	
△/○	立上げ、素通り、引下げ	
□	アウトレットボックス	
☒	ブルボックス	

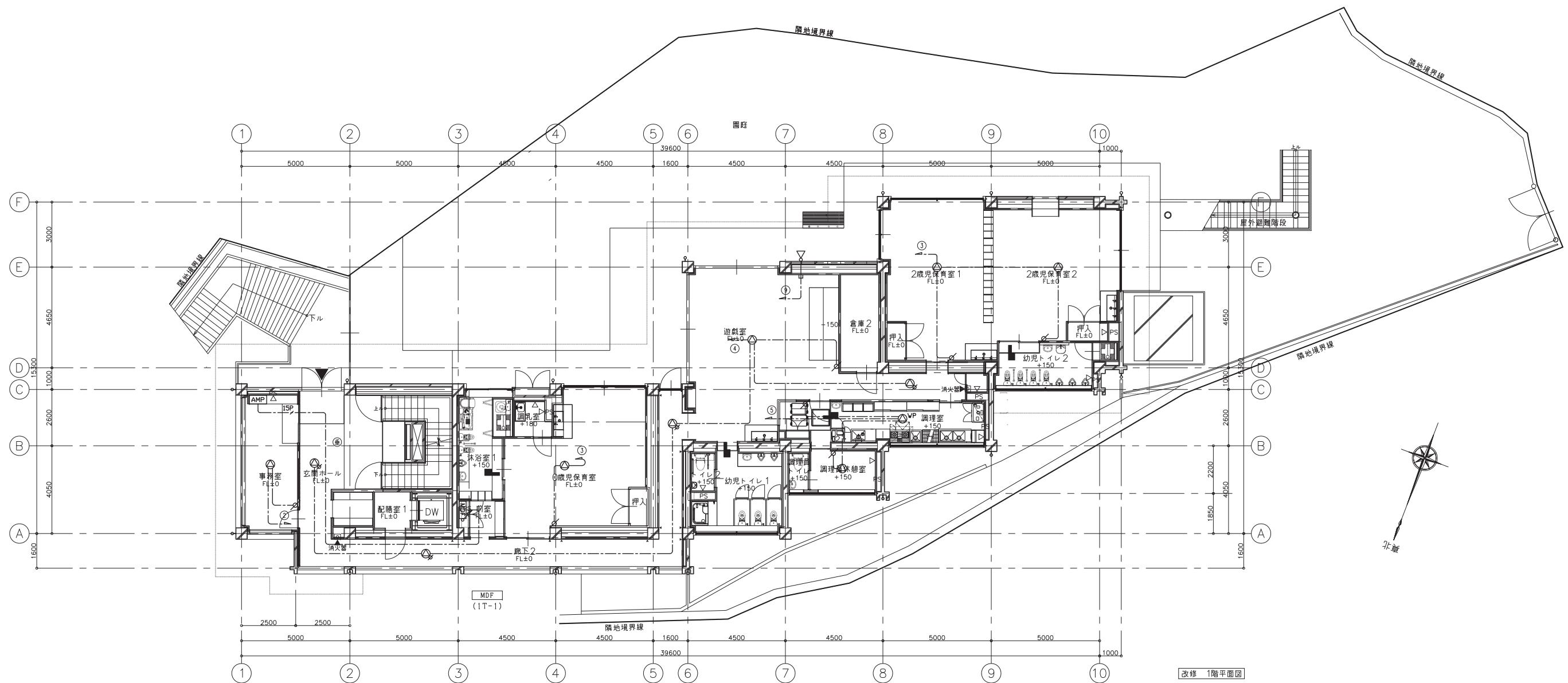
注記

1. 特記なき配管配線は下記の通りとする。
業務放送設備
—— SP E M-AE 1. 2- 3C 保護管 (PF16)
—— SP E M-AE 1. 2- 5P 保護管 (PF22)
—— SP E M-AE 1. 2-15P 保護管 (PF28)
—— SP E M-AE 1. 2- 3C (PF16)
—— SP E M-AE 1. 2- 5P (PF22)
2. 立上げ引下げ箇所は配管にて保護すること。
3. 防火区画及び防火上重要な箇所切り妻の貫通部は、国土交通大臣認定による区画貫通処理を行うこと。
4. 管子盤は、各設備毎にセパレータを設けること。
5. 外壁に取付ける機器及びボックスは防露措置を施し配管は上部接続とすること。

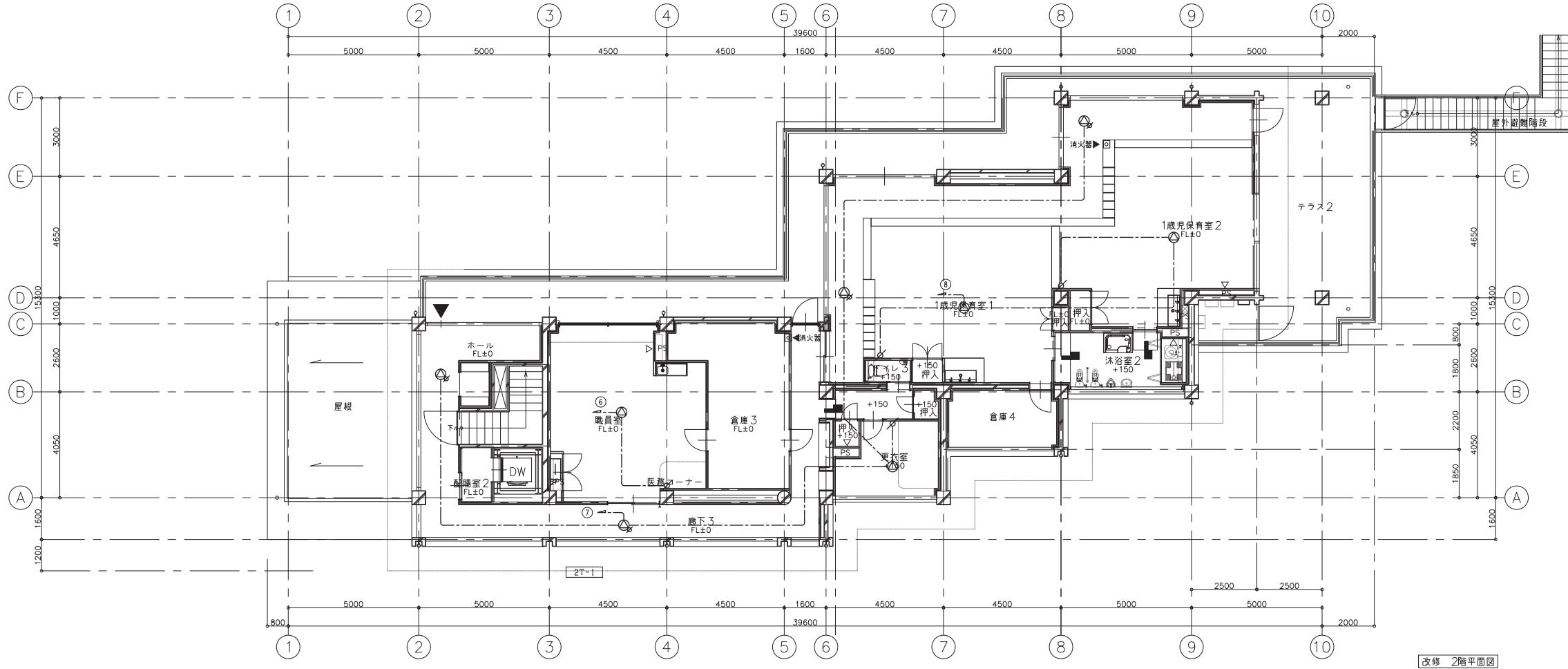
放送系統表

N.O.	業務番号	階	系 統 名 称	名称(放送エリア)
1	(1)	B 1	地域交流スペース	
2	(2)	1	事務室	
3	(3)	1	0歳・2歳児保育室	
4	(4)	1	遊戯室・廊下2	
5	(5)	1	調理室・調理員休憩室	
6	(6)	2	職員室	
7	(7)	2	更衣室・廊下3	
8	(8)	2	1歳児保育室1,2	
9	(9)	1	園庭	
10			予備	

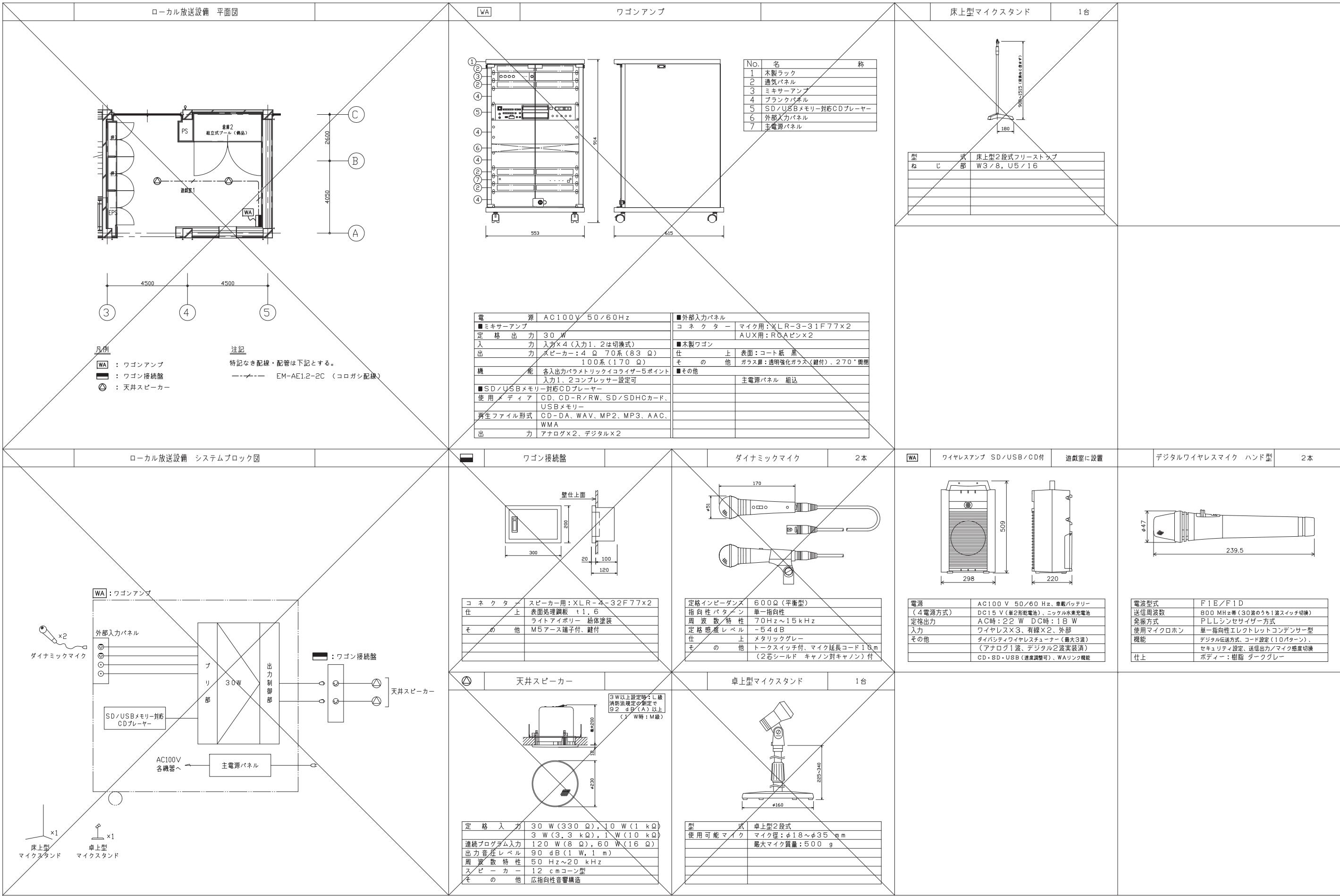




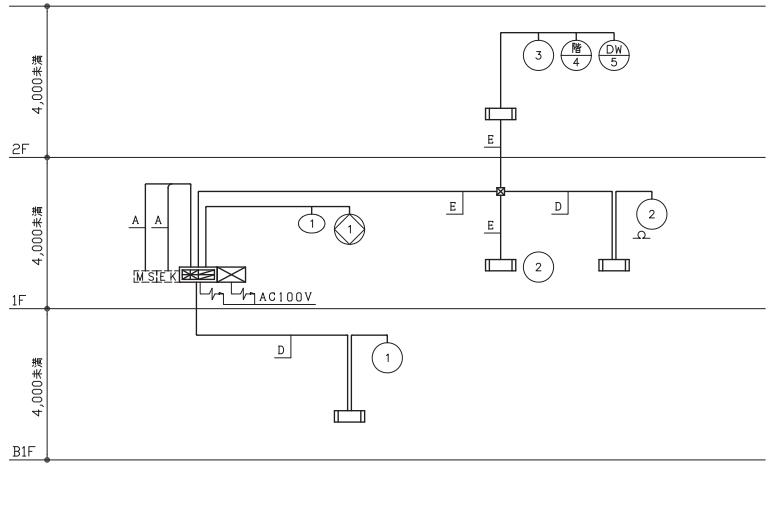
放送設備 1階平面図 S=1/100



放送設備 2階平面図 S=1/100



配管配線内訳表	
記号	配管配線内訳
A	EM-HPO, 9- 2C(19)
B	EM-HPO, 9- 4C(19)
C	EM-HPO, 9- 3P(19)
D	EM-HPO, 9- 5P(25)
E	EM-HPO, 9-10P(31)
F	EM-HPO, 9-15P(31)
G	EM-HP1, 2- 3P(25)
H	EM-HP1, 2- 5P(25)
I	EM-HP1, 2-10P(31)



凡　例	
記号	名　称　備　考
[EK]	複合盤 仕様注記参照
[EK]	電気錶制御盤 (設備工事)
[MS]	機械警備制御盤 (設備工事)
[MS]	火災通報装置 壁掛型、専用電話機付属、アナログ回線接続、予備電源内蔵
[]	機器収容箱 露出経型、配線処理端子付
(P)	P型発信機 1級、リング型表示灯(AC24V, LED)付
(S)	火災警報ベル DC24V, 10mA
(D)	終端抵抗 10KΩ
(S)	光電式スポット型感知器 2種、非蓄積型
(S)	差動式スポット型感知器 2種
(D)	定温式スポット型感知器 1種、75°C、防水型
(S)	光電式スポット型感知器 3種、非蓄積型
(R)	自動閉鎖装置 防煙たれ壁用(建築工事)
(N)	警戒区域番号 火災表示用
(N)	警戒区域番号 火災表示用、階段用
(N)	警戒区域番号 火災表示用、ダムウェーテー用
(N)	動作区域番号 専用感知器連動用
(N)	動作区域番号 防煙たれ壁用
—	ケーブル配線 天井いんべい
—	配管配線 いんべい
- - -	配管配線 露出
○	配管配線立上げ引下げ
□	ジャンクション、フルボックス

《注記》

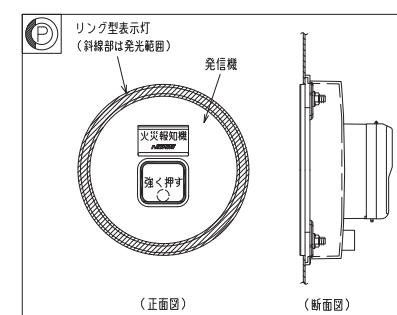
- 複合盤仕様
 - P型1級、壁掛型、窓式、主音響(音声警報)・予備電源内蔵蓄積式、自動断線警報機能付
 - 操作無効機能付
 - カラーコニバールデザイン対応
 - 羅經リスト機能(1,000件)
 - 表示内訳

・火災表示
 $5L + 4L (\text{予備}) = 10L$
1L

- 防煙たれ壁閉鎖表示
- 専用感知器回数
7) 諸表示部(3L標準装備)
8) 移報信号内訳:
 - 電気録制御盤へ火災代表信号移報(無電圧、a接点、3L)
 - 機械警備制御盤へ火災代表信号移報(無電圧、a接点、1L)

2. 感知器はすべて確認灯付とする。

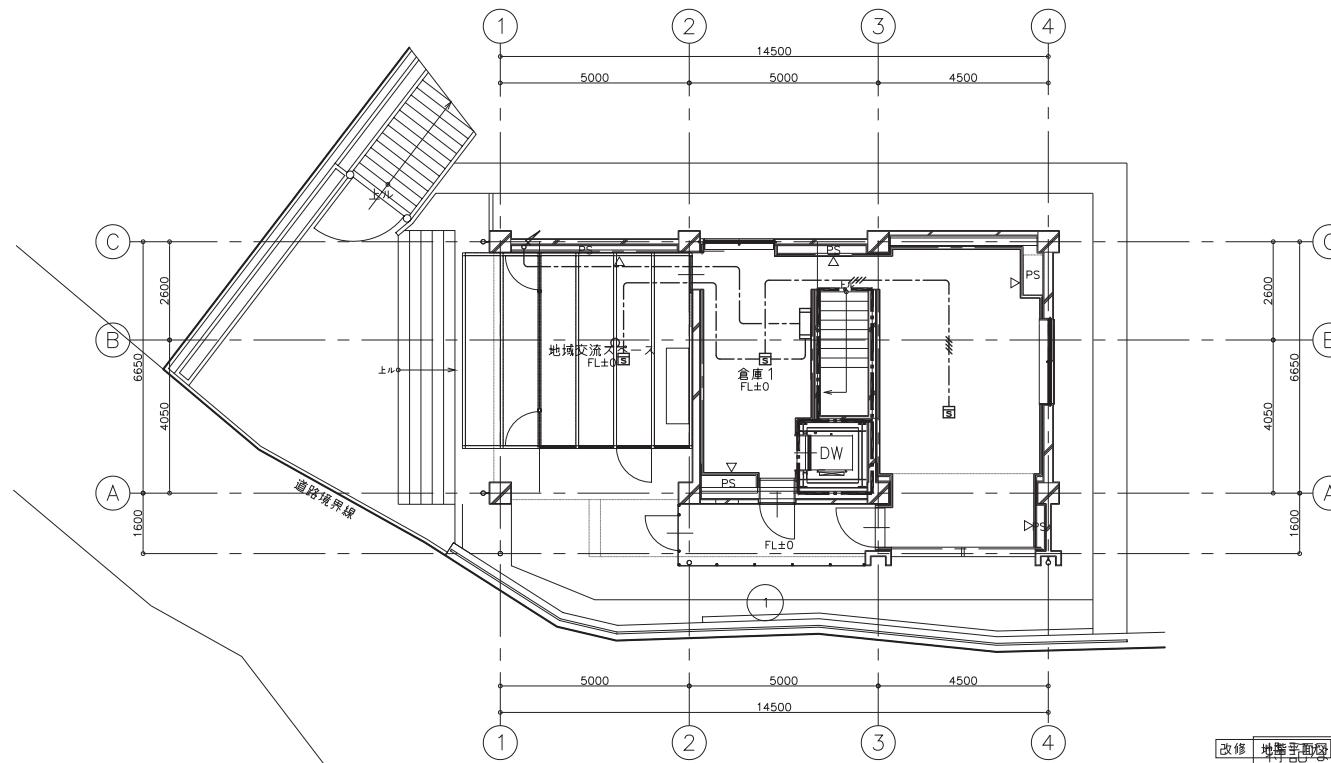
- 地区ペル警報方式は一斉鳴動方式とする。
- リング型表示灯付発信機の参考概観図は下記とする。



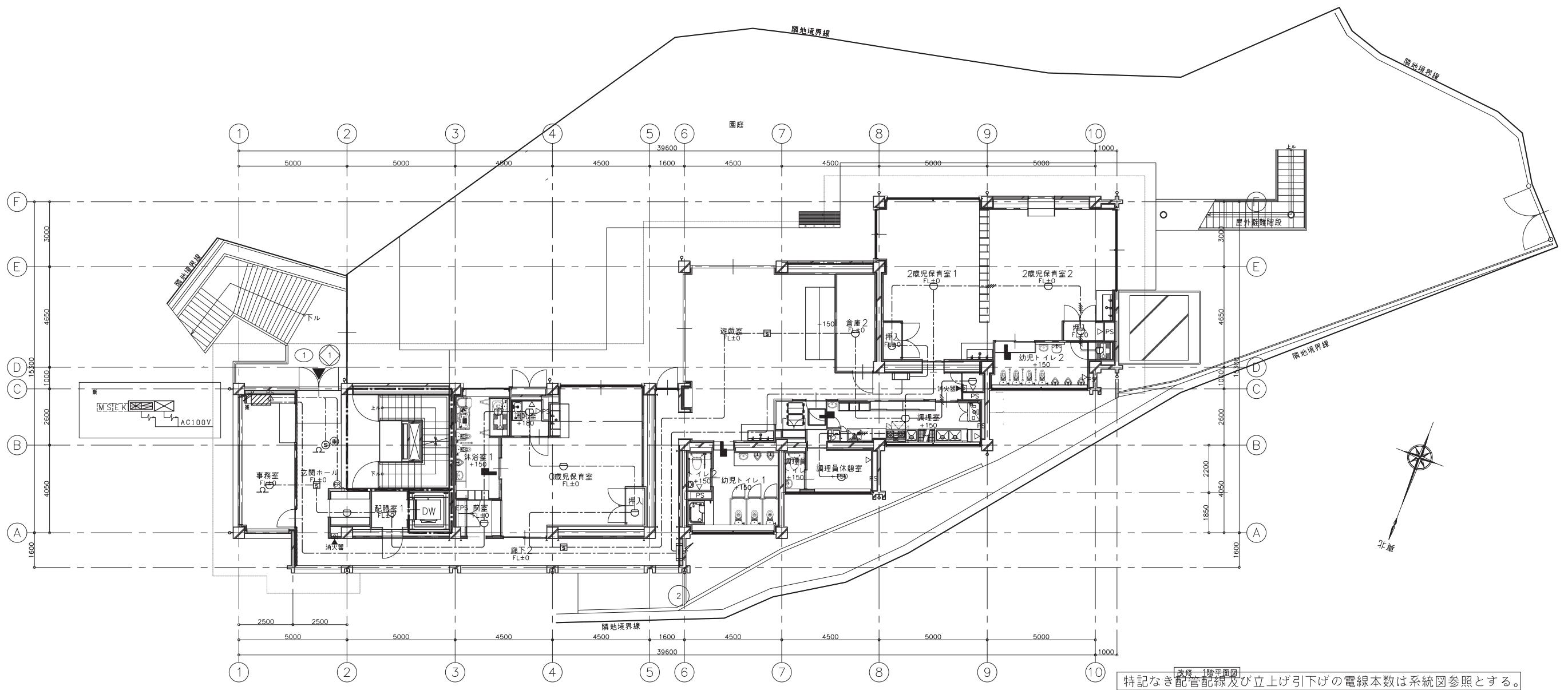
5. 特記なき配管配線は下記とする。

- | | |
|-------|-------------------|
| (感知器) | EM-AE0, 9- 2C(19) |
| — | EM-AE0, 9- 4C(19) |
| — | EM-HPO, 9- 2C(19) |
| (R) | EM-HP1, 2- 3C(19) |
- EM-AE; 警報用エコマテリアルケーブル
EM-HP; 耐熱エコマテリアルケーブル

2重天井部分はケーブルごろがし配線、直天井部分は露出配管配線とする。

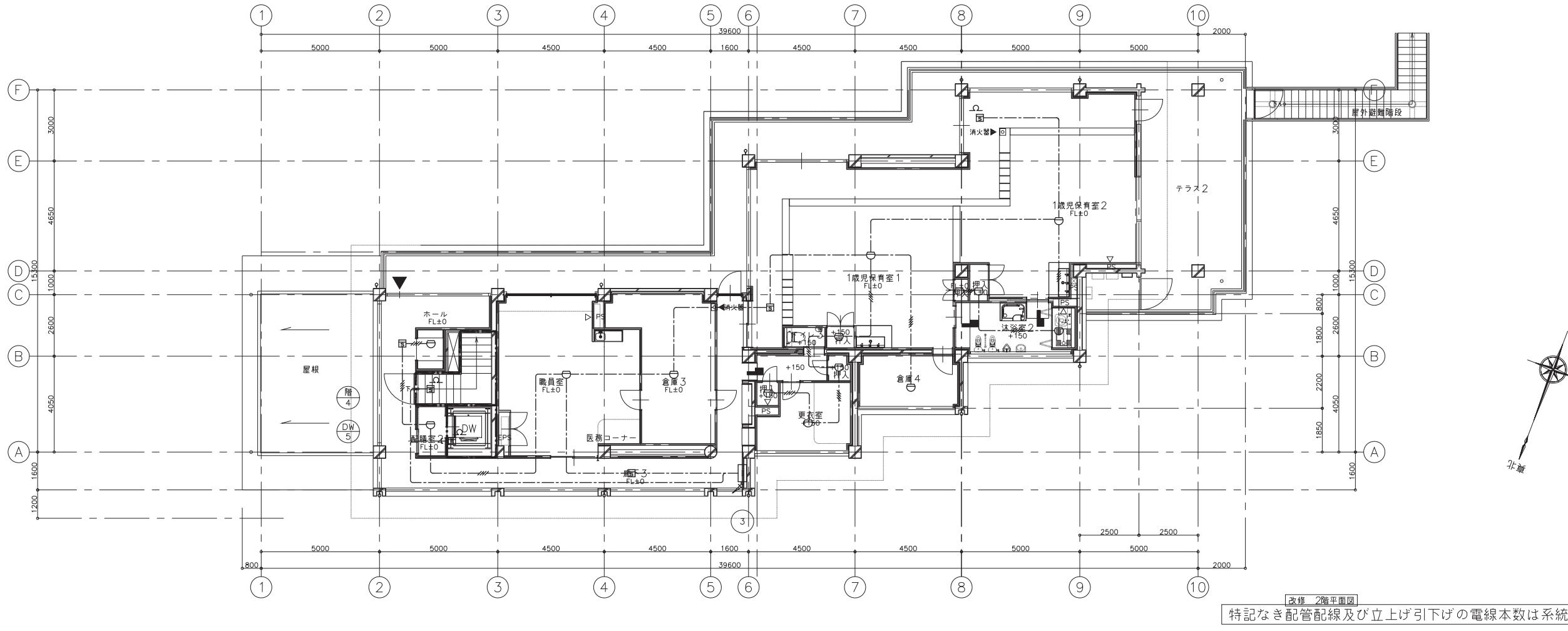


自動火災報知設備 地階平面図 S=1/100



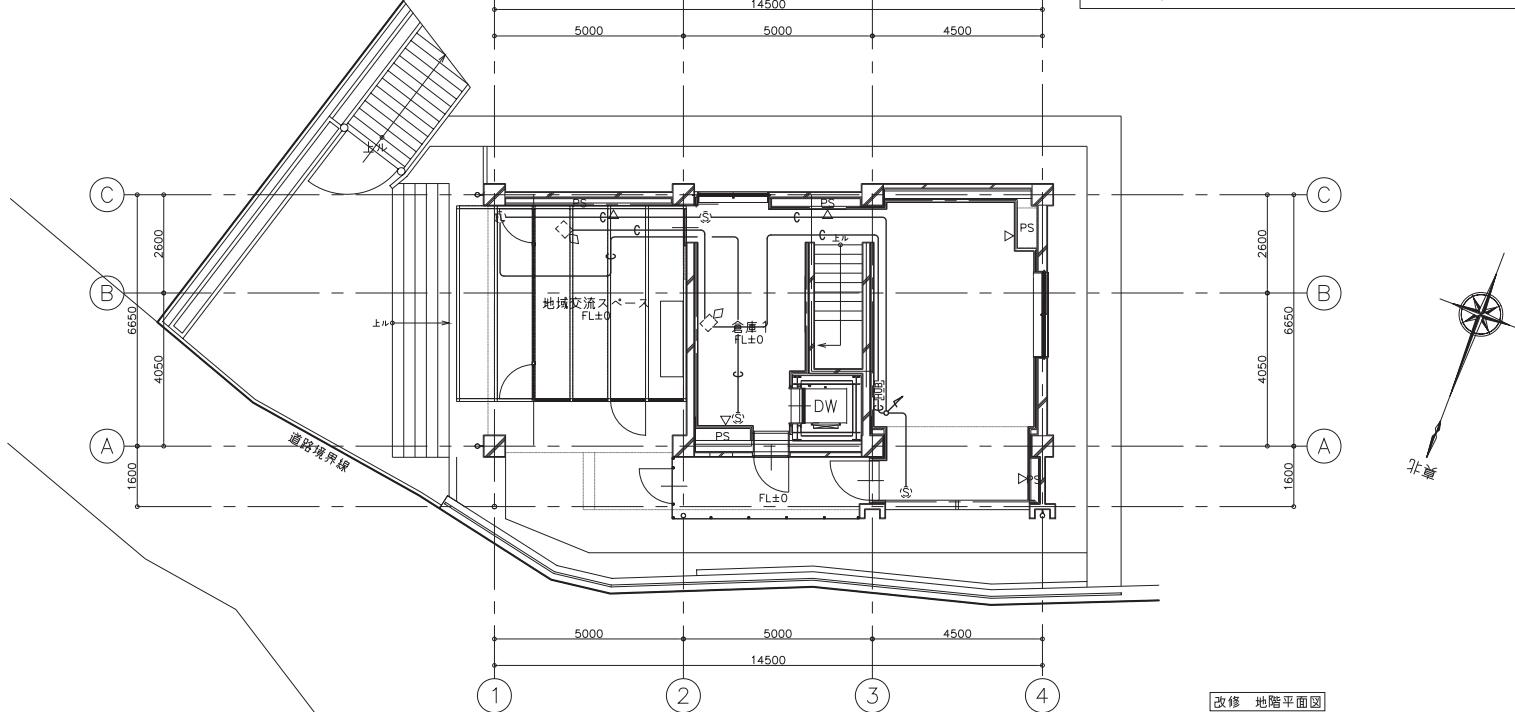
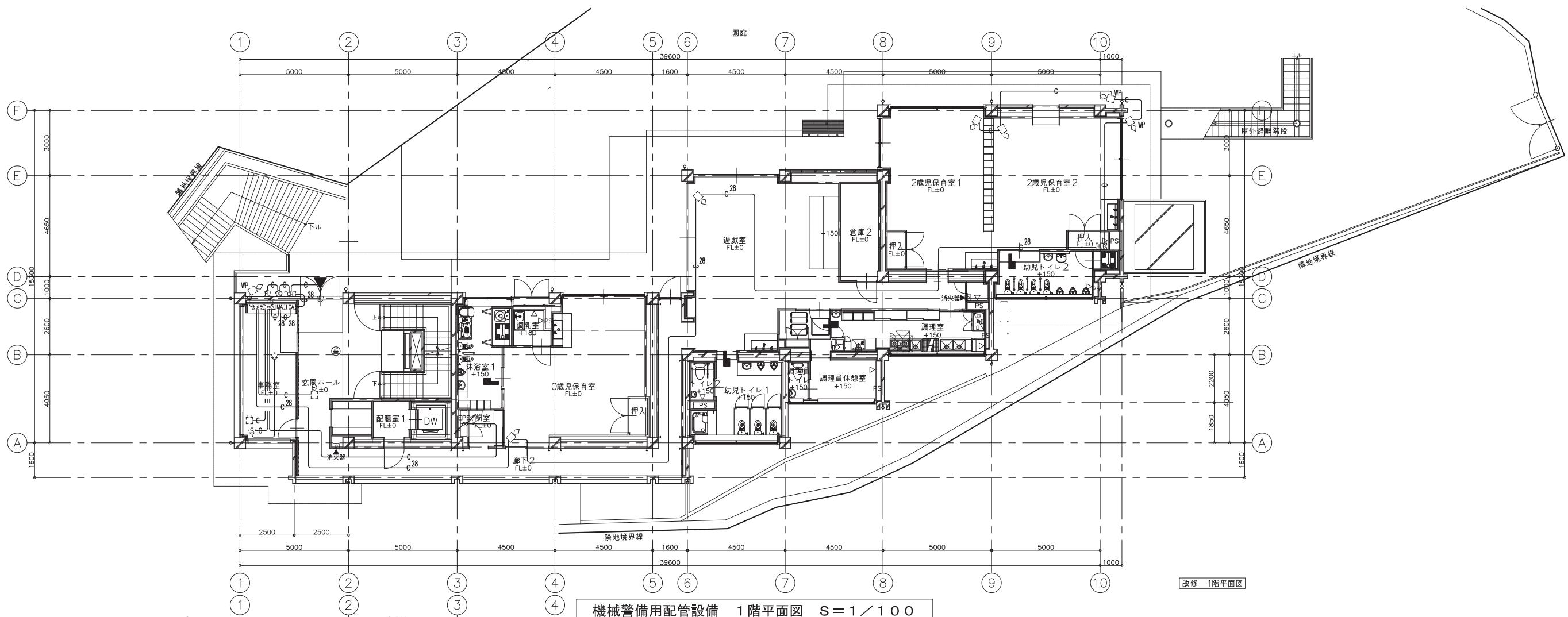
自動火災報知設備 1階平面図 S=1/100

株式会社 日比野設計										Date	Plan	Draw	Check	熱海市観光建設部まちづくり課			特記	工事名	図面名	Scale	No.
HIBINO SEKKEI	一級建築士事務所 一級建築士 登録第2017号 第274650号	神奈川県知事登録 伊東 駿子	平成30年3月	奥水	木村	伊佐地	設計	中田	製図	中田	調査	中田	監査			(仮称)あたみ誕生こども看護改修工事(その2)(乳児棟)	自動火災報知設備 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200	E-26 Total 43		



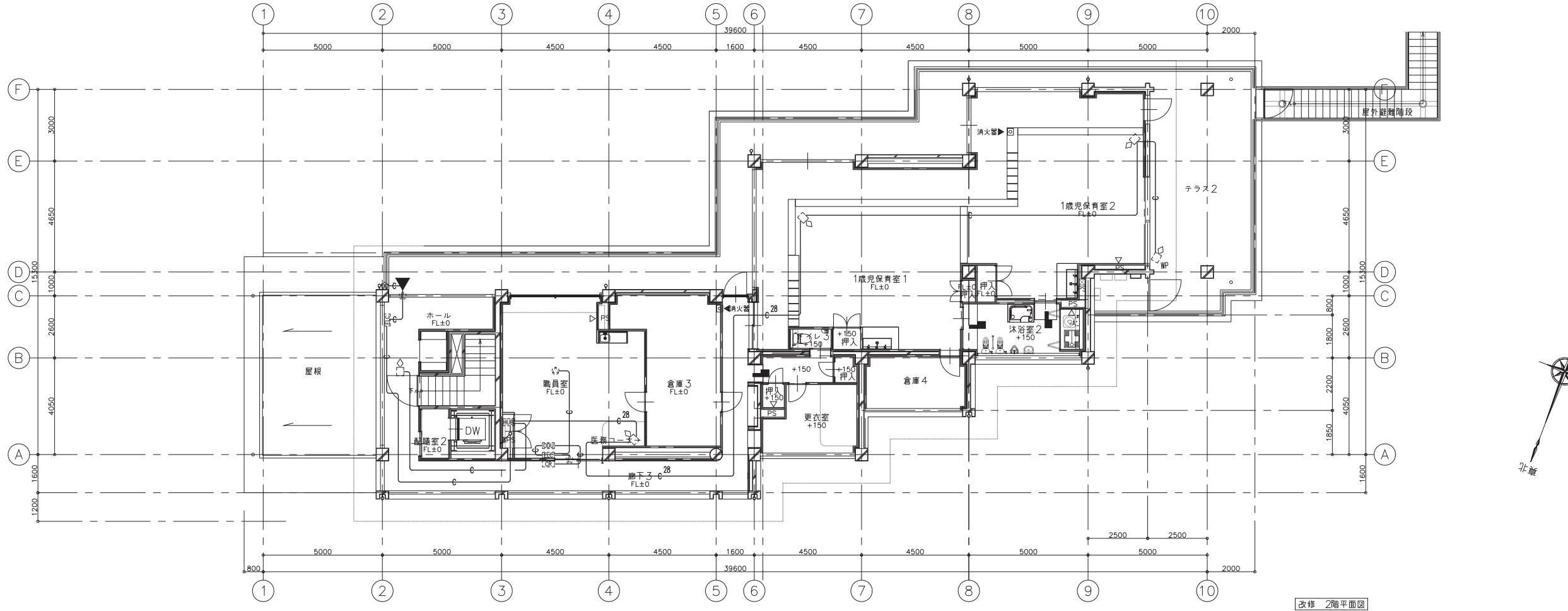
自動火災報知設備 2階平面図 S=1/100

株式会社 日比野設計		Date 平成30年3月	Plan 奥水	Draw 木村	Check 伊佐地	熱海市観光建設部まちづくり課				工事名 (仮称)あたみ認定こども園改修工事(その2)(乳児棟)	面図名 自動火災報知設備 2階平面図	Scale A1:1/100 A3:1/200	No. E-27
日比野設計 一級建築士事務所 代表建築士 第2017号 伊東陽子	新井川田知恵 第274650号	意匠設計:一級建築士 第334613号 跳部 駿子	設計 中田	製図 中田	調査 築田								

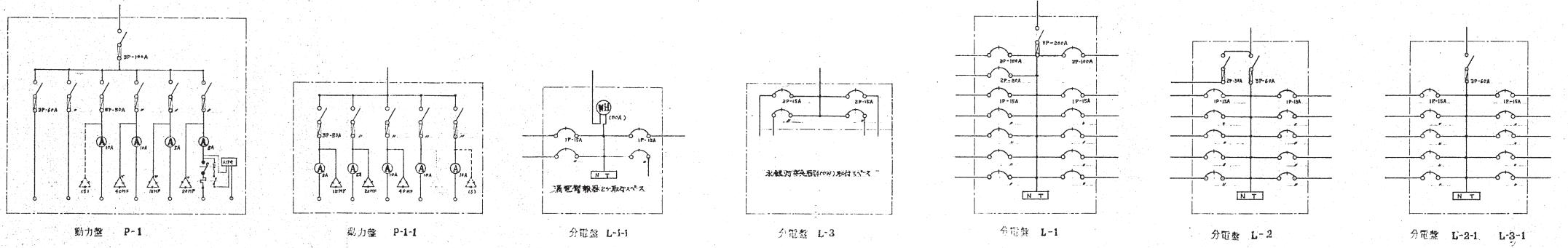


機械警備用配管設備 地階平面図 S=1/100

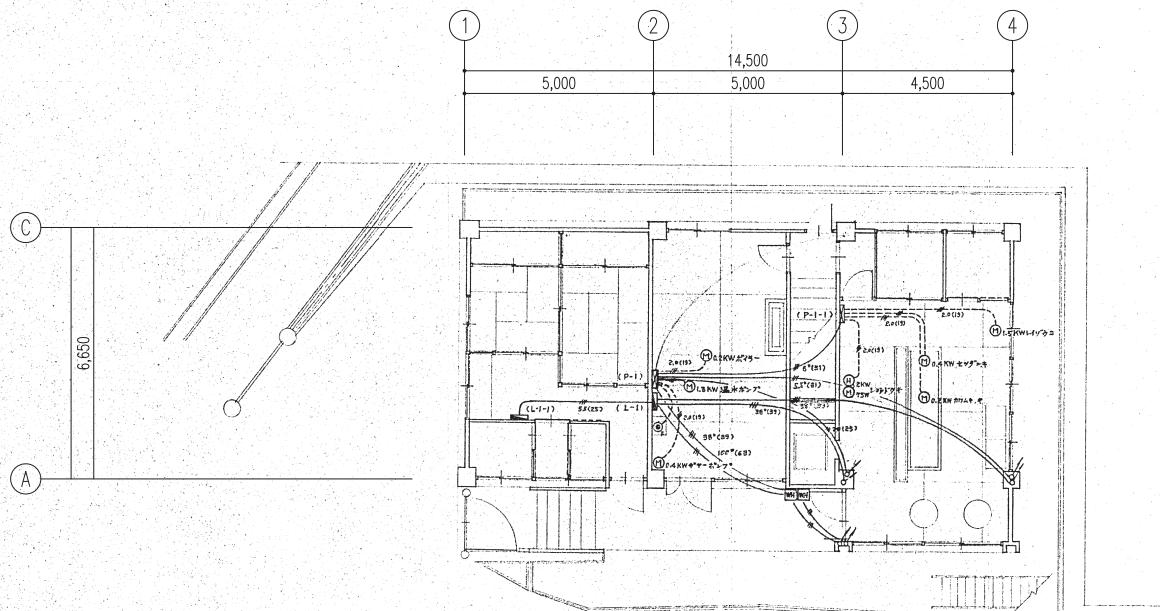
株式会社 日比野設計		Date 平成30年3月	Plan 奥水	Draw 木村	Check 伊佐地	熱海市観光建設部まちづくり課				工事名 (仮称)あたみ認定こども園改修工事(その2)(乳児棟)	回面名 機械警備用配管設備 地階・1階平面図	Scale A1:1/100 A3:1/200	No. E-28
HIBINO SEKKEI	一級建築士事務所 一級建築士 神奈川県知事登録 第2017号 第274650号 伊東 駿子	意匠設計:一級建築士 第334613号 跳部 駿子	設計 中田	製図 中田	調査 築田							Total 4.3	



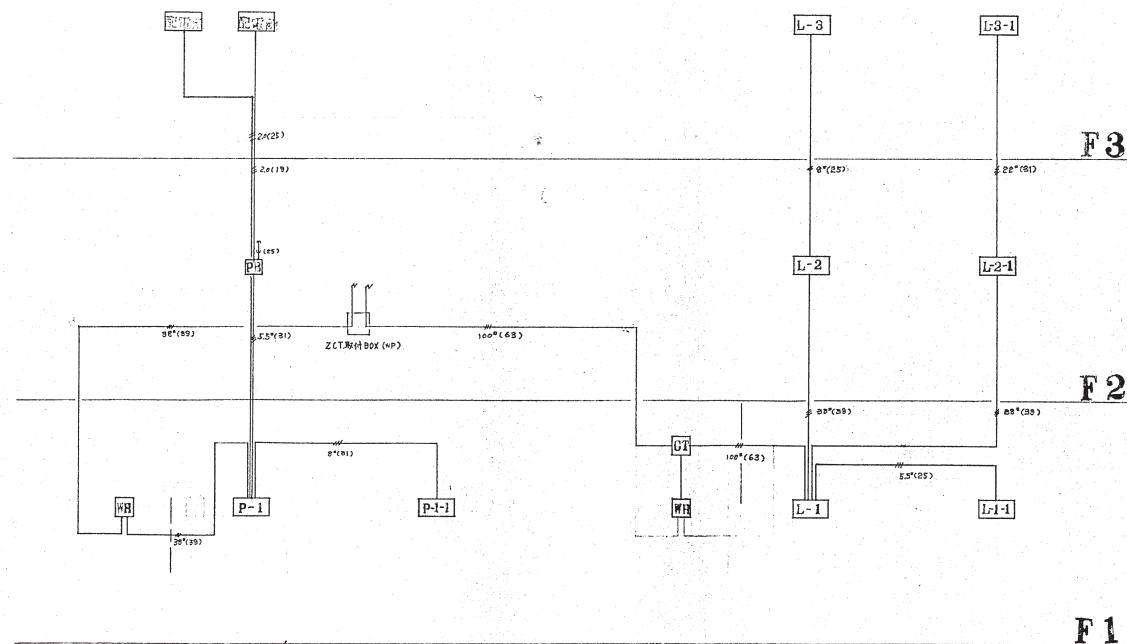
機械警備用配管設備 2階平面図 S=1/100



(動力電燈幹線系統圖)



地階平面図 S=1/100

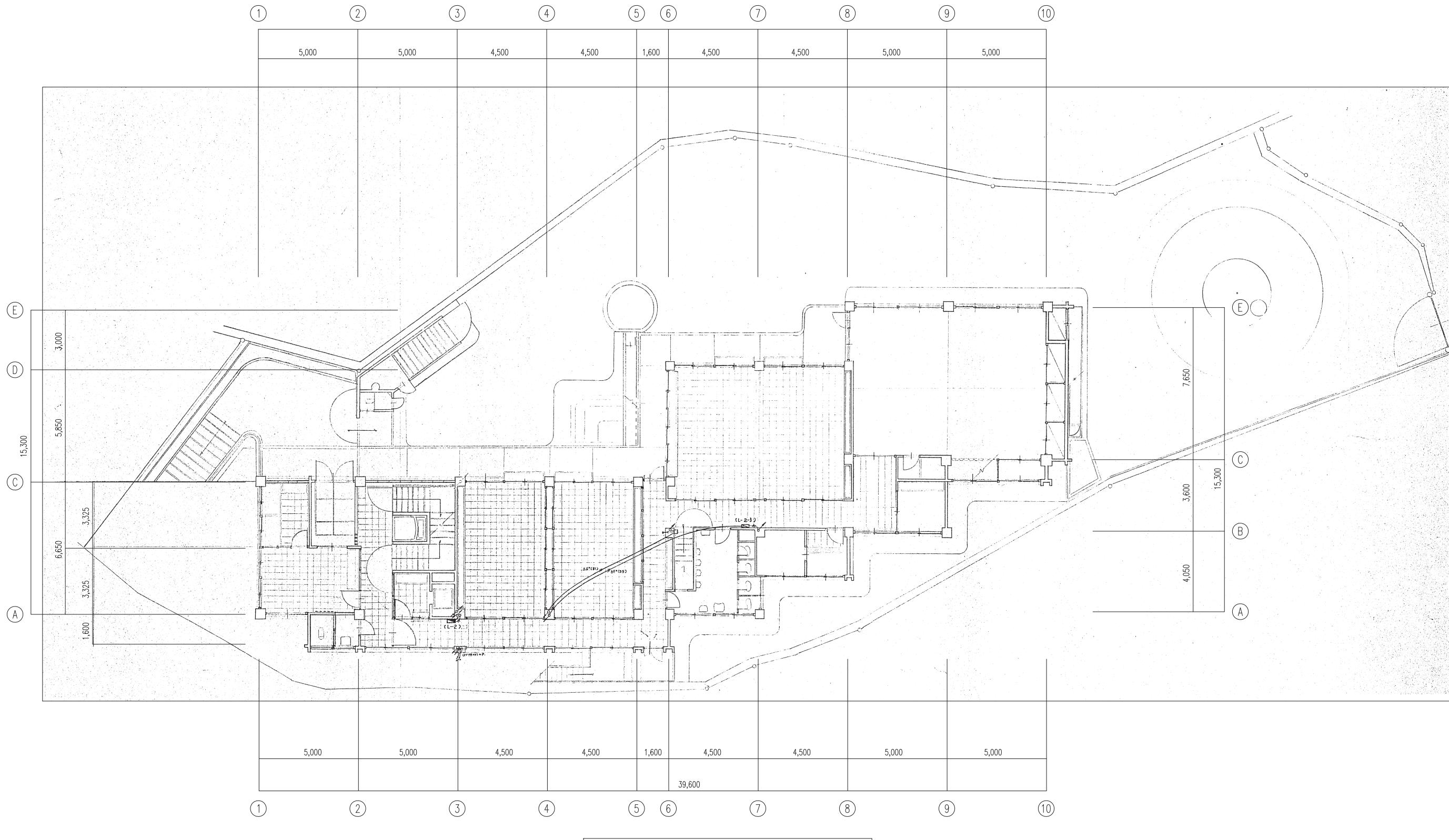


1. 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。

2. 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図

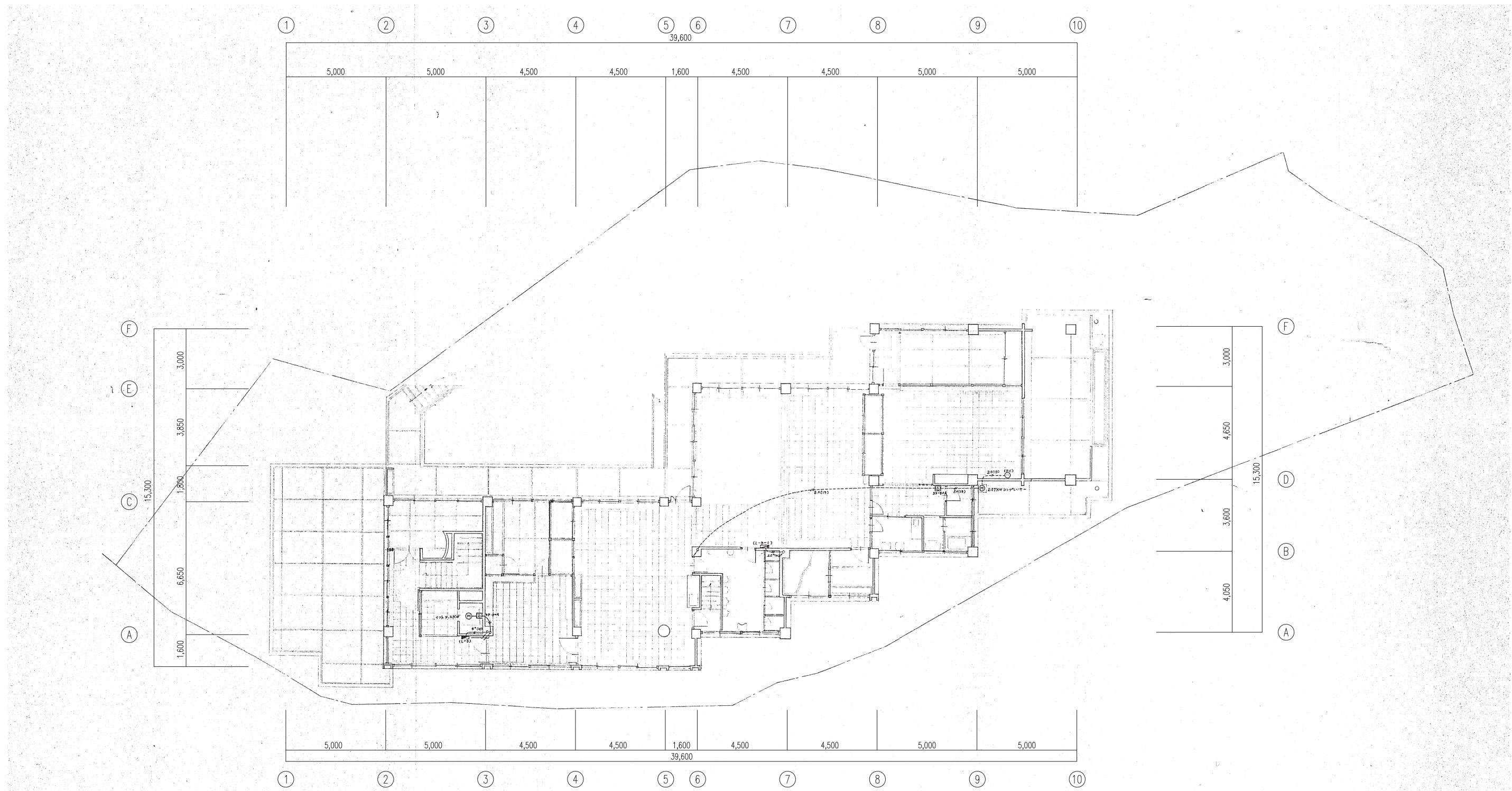
株式会社 日比野設計	Date	Plan	Draw	Check	熱海市観光建設部まちづくり課				工事名 (仮称)あたみ湯定こども園改修工事(その2)(乳児棟)	図面名 幹線動力設備 地階平面図(撤去)	Scale A1:1/100 A3:1/200	No. E-30
		意匠設計:一級建築士 第334613号 計師 香平 平成30年3月	中田	中田	中田							
株式会社 日比野設計	平成30年3月	中田	中田	中田					(仮称)あたみ湯定こども園改修工事(その2)(乳児棟)	幹線動力設備 地階平面図(撤去)	A1:1/100 A3:1/200	E-30
一級建築士事務所 日比野設計 神奈川県知事登録 第201号 第274650号 伊東謙子		中田	中田	中田							Total 43	



1階平面図 S=1/100

- 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
 - 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図

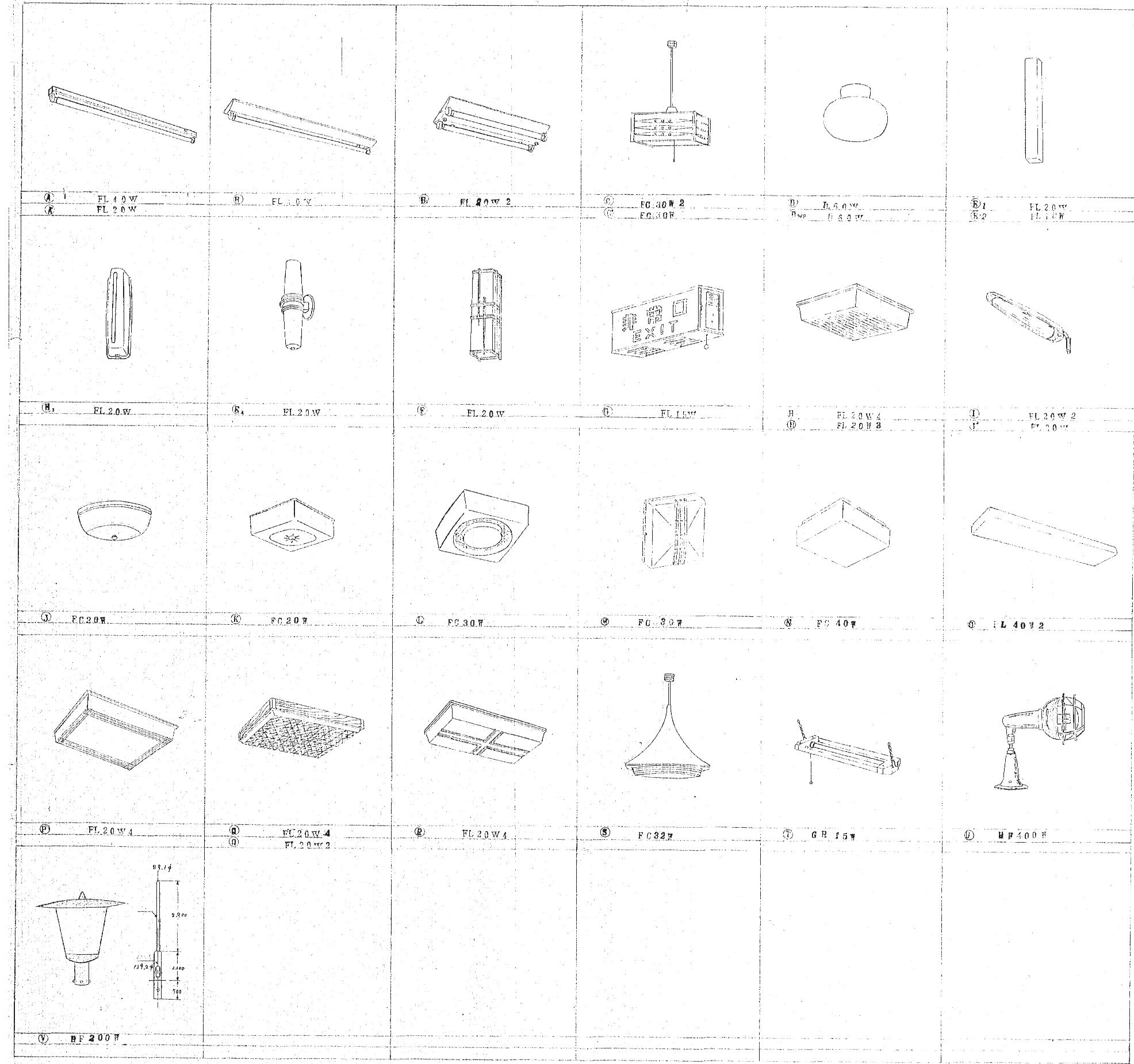


2階平面図 S = 1 / 100

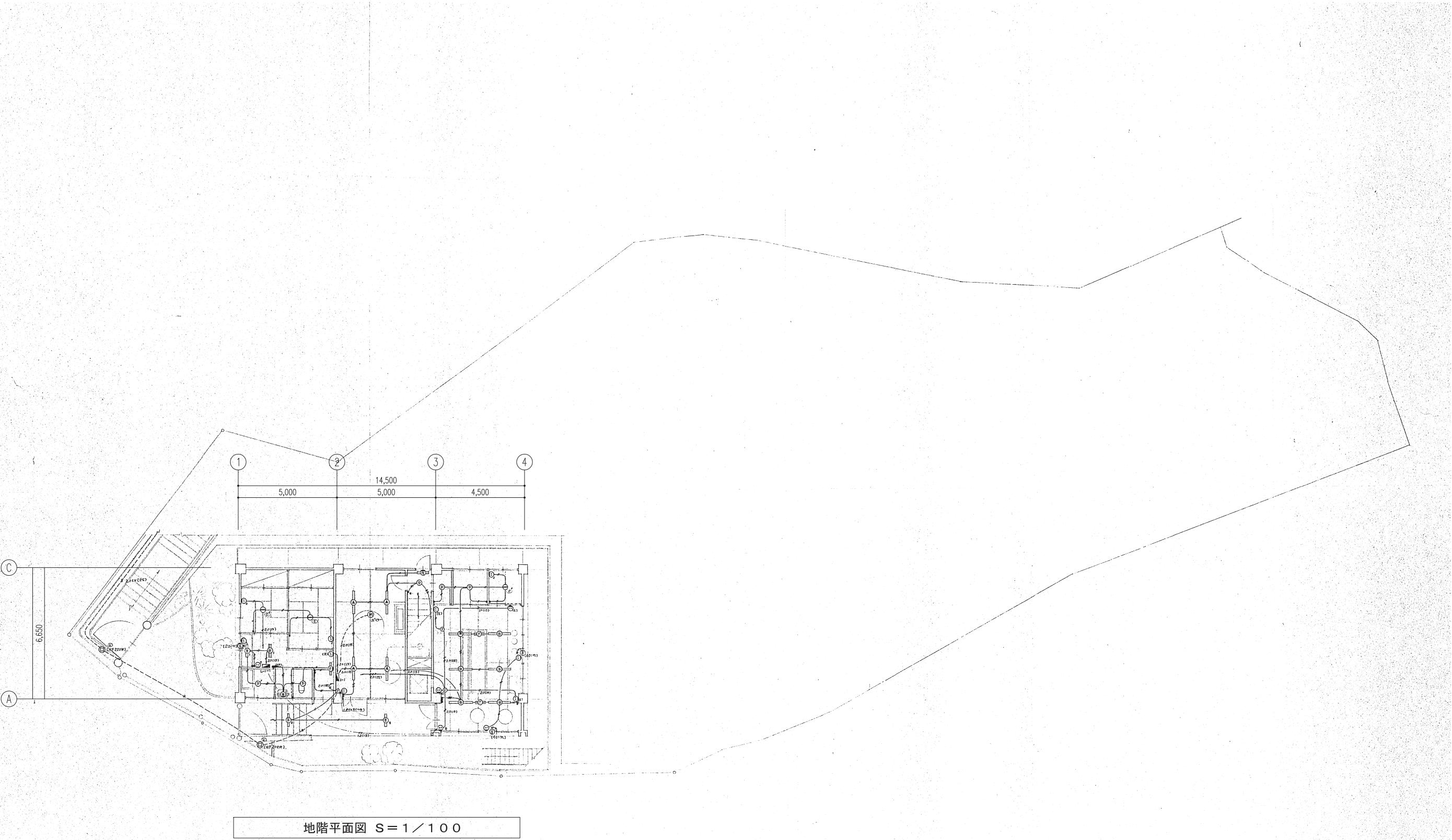
1. 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
2. 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図

Date	Plan	Draw	Check	熱海市観光建設部まちづくり課	特記	工事名	図面名	Scale	No.
平成30年3月	奥水	木村	伊佐地	設計 中田 製圖 中田 調査 中田		(仮称)あたみ認定こども看護改修工事(その2)(乳児棟)	幹線動力設備 2階平面図(撤去)	A1:1/100 A3:1/200	E-32 Total 43



撤去図

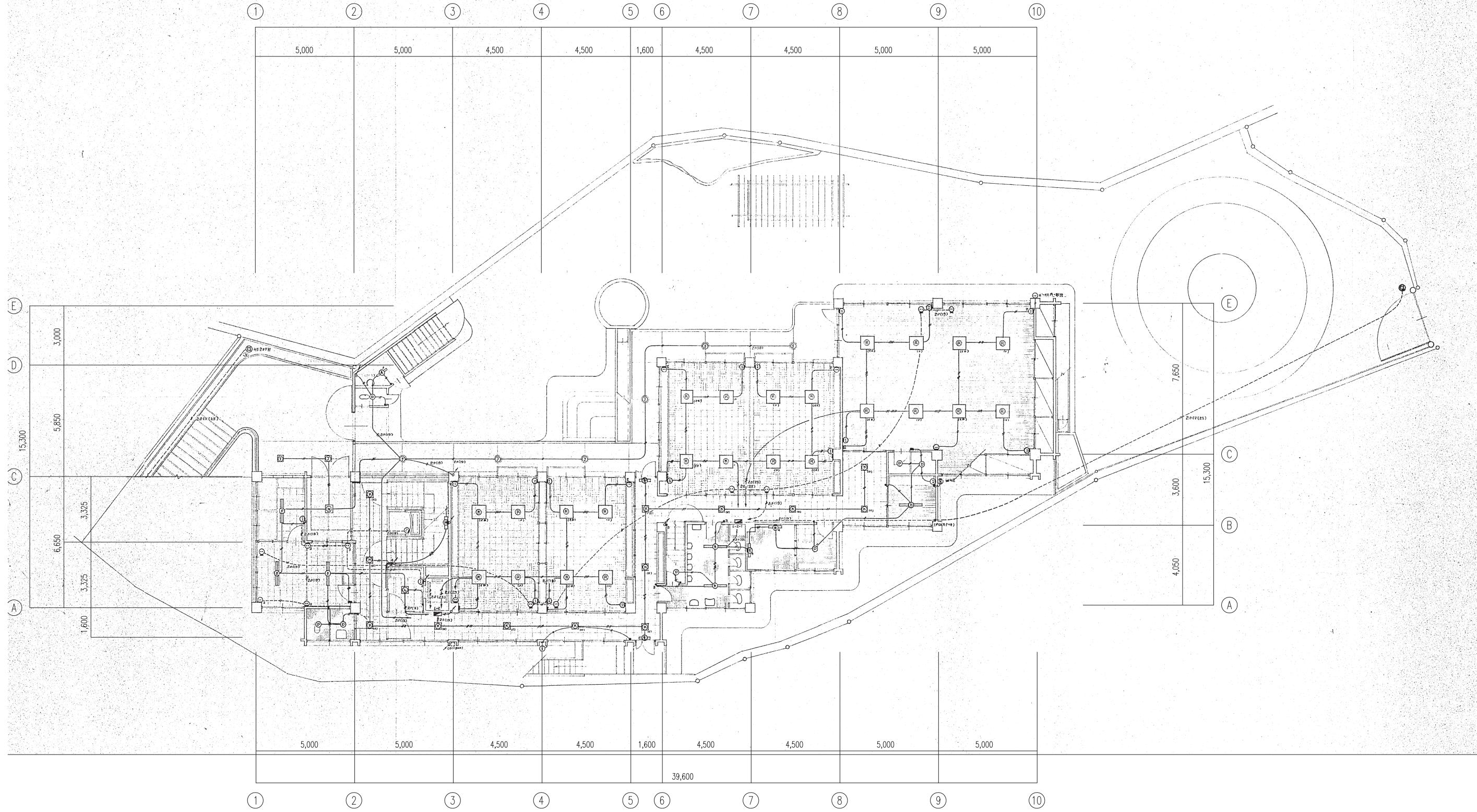


1. 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。

2. 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図

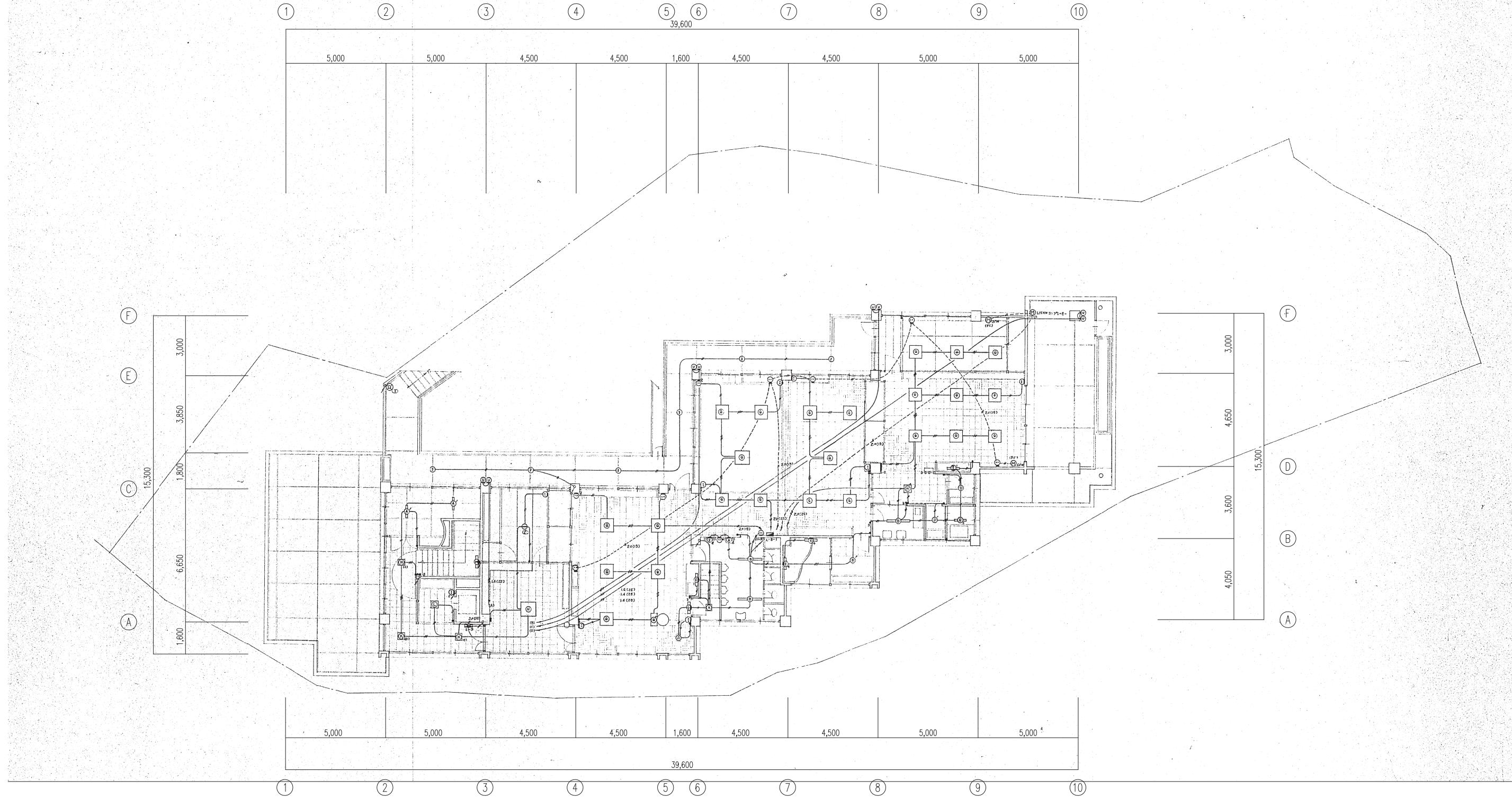
株式会社 日比野設計	Date	Plan	Draw	Check	熱海市観光建設部まちづくり課	特記	工事名	図面名	Scale	No.
HIBINO SEKKEI 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第2017号 一級建築士 第274650号 伊東陽子	平成30年3月	奥水	木村	伊佐地	設計 中田 製図 中田 調査 塙田		(仮称)あたみ認定こども看護修理工事(その2)(乳児棟)	電灯設備 地階平面図(撤去)	A1:1/100 A3:1/200	E-34 Total 43



1階平面図 S=1/100

- 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
 - 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

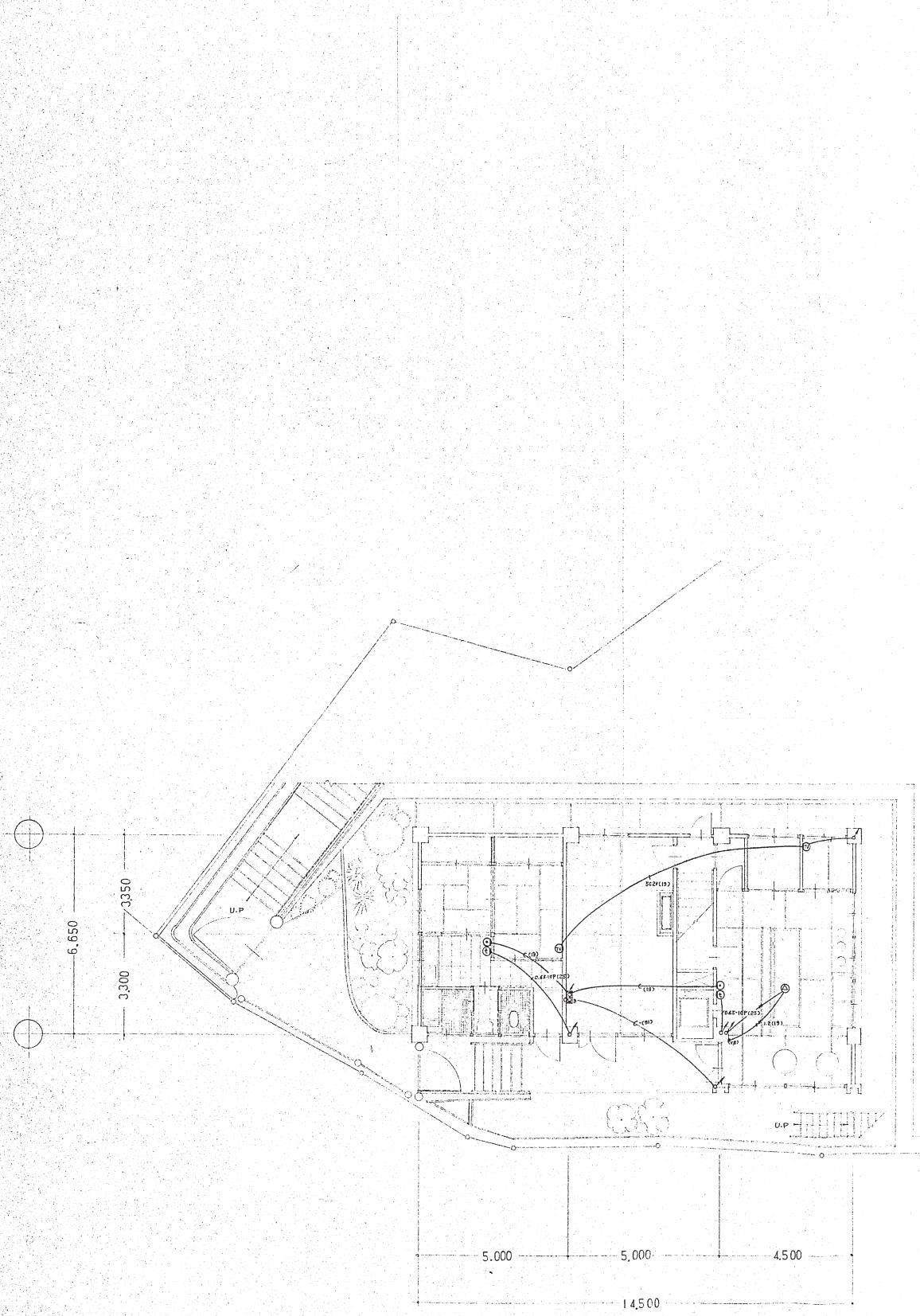
撤去図



2階平面図 S=1/100

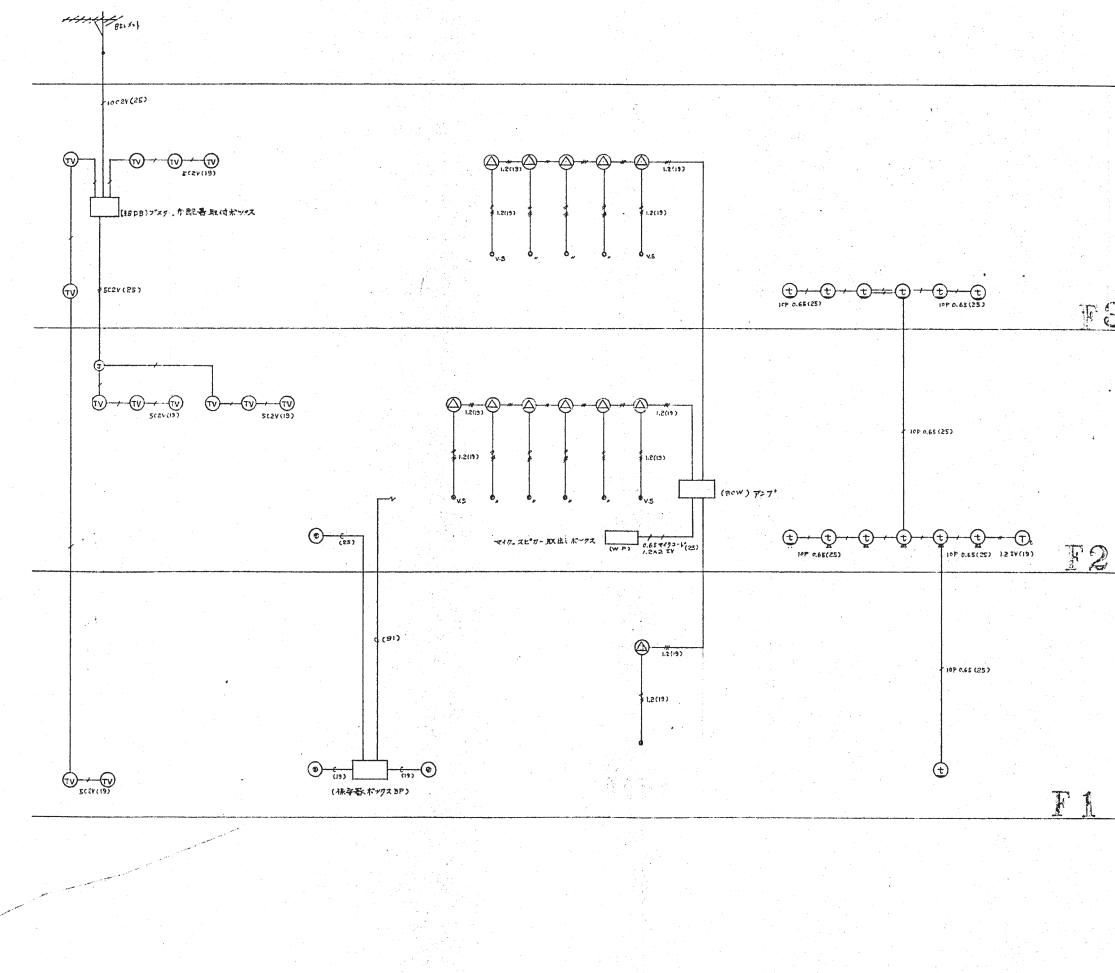
- 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
 - 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図



地階平面図 S=1/100

弱電配線系統

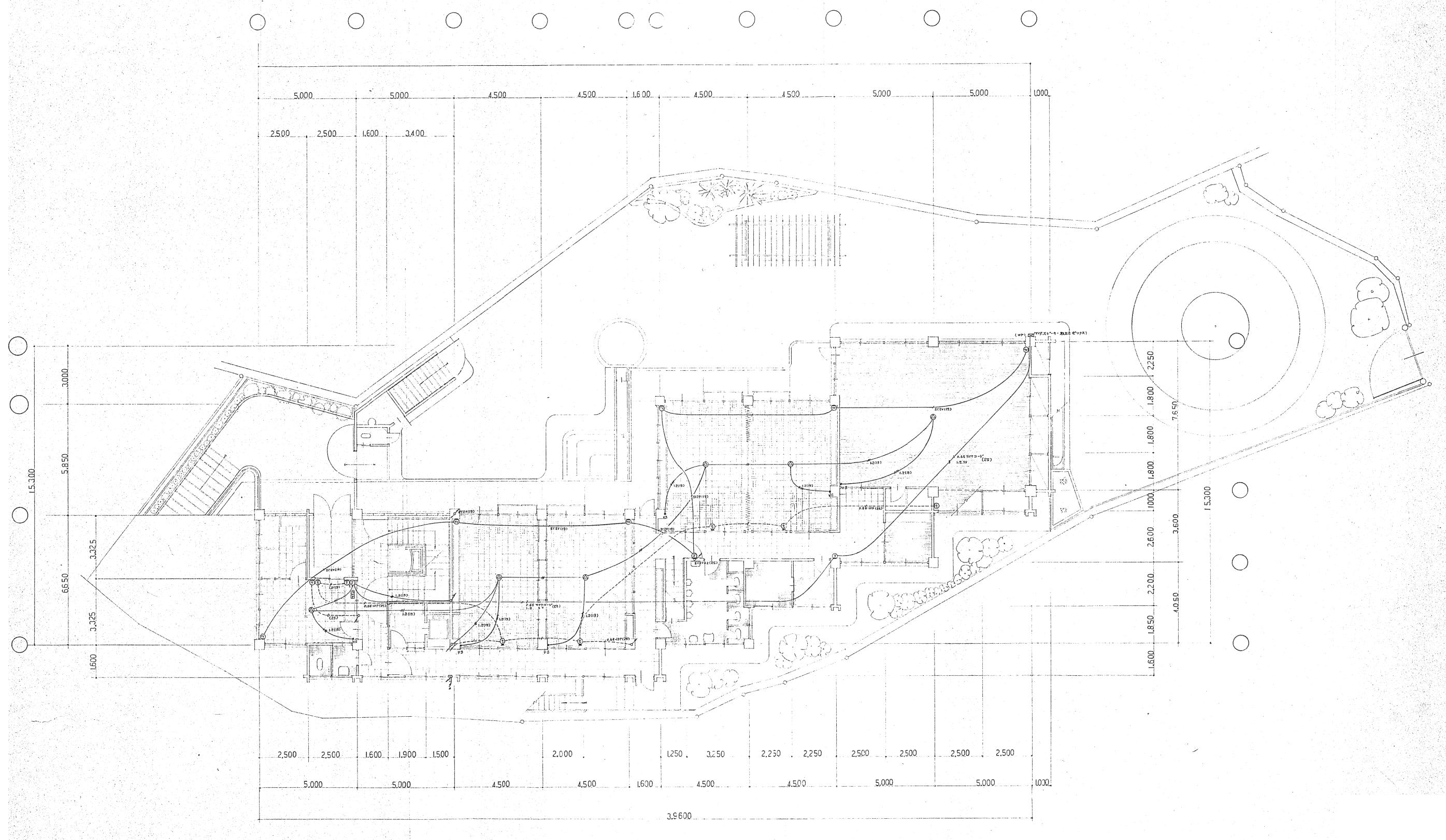


1. 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。

2. 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図

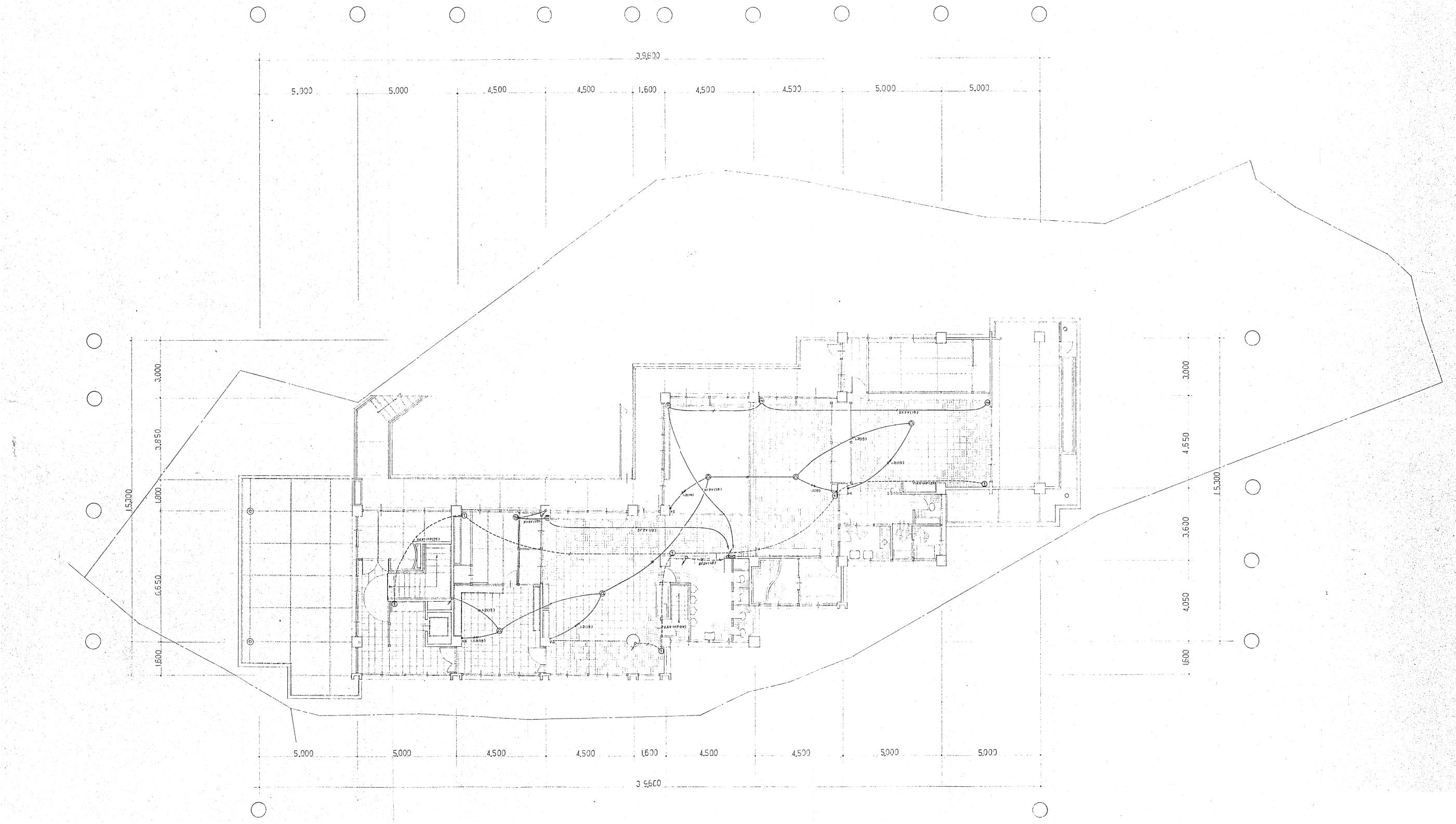
株式会社 日比野設計 HIBINO SEKKEI	...級建築士事務所 横浜川崎知事登録 第2017号 ...級建築士 第274650号 伊東 雄子	Date 平成30年3月	Plan 美水	Draw 木村	Check 伊佐地	熱海市観光建設部まちづくり課				工事名 (仮称)あたみ認定こども園改修工事(その2)(乳児棟)	図面名 弱電設備 系統図・地階平面図(撤去)	Scale A1:1/100 A3:1/200	No. E-37
						設計	中田	製図	中田	調査	建田		



1階平面図 S=1/100

- 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
 - 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

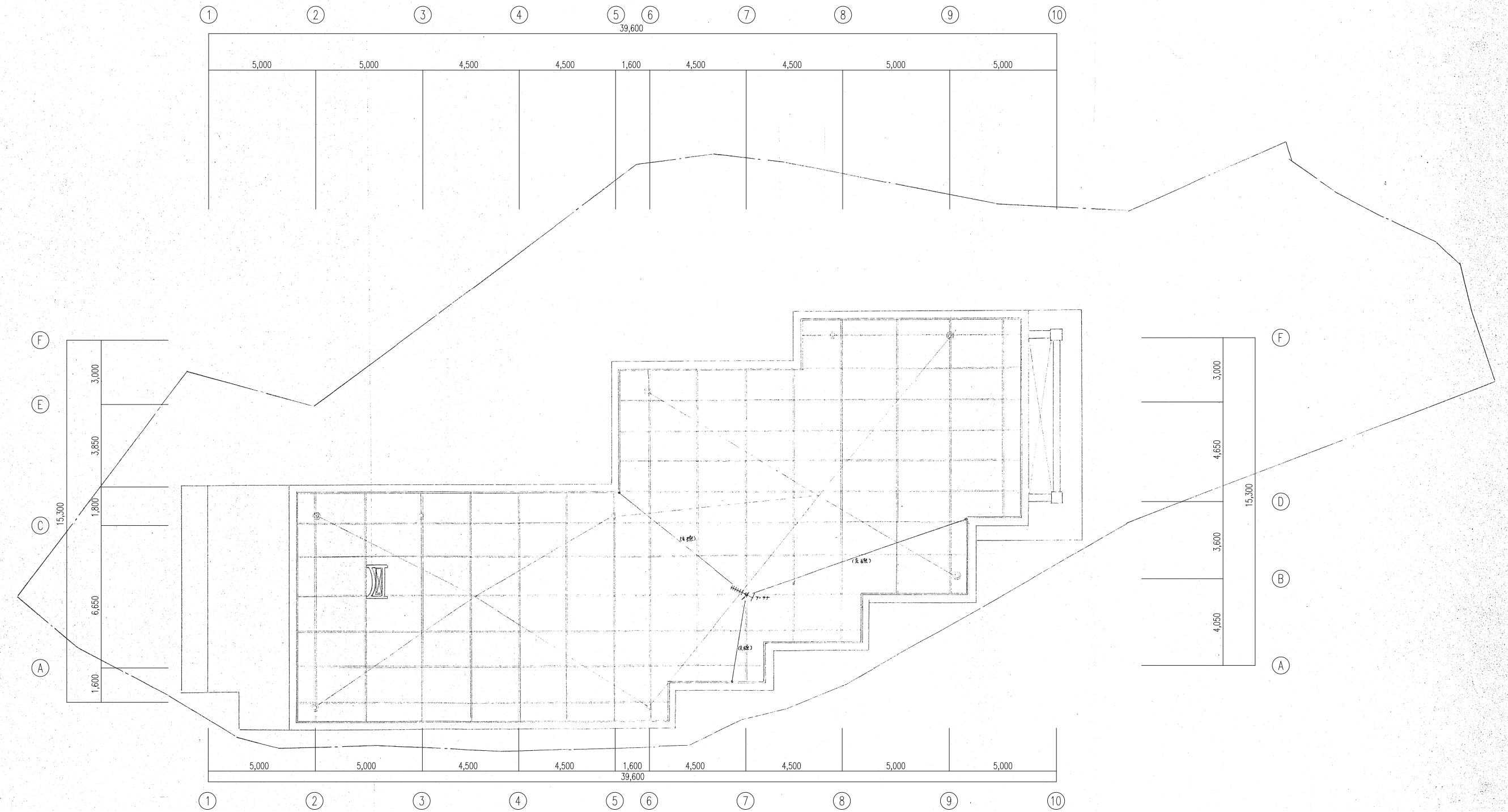
撤去図



2階平面図 S = 1 / 100

撤去図

株式会社 日比野設計 HIBINO SEKKEI	Date 平成30年3月	Plan 奥水 木村				Draw 伊佐地			Check 計画 (中田) 製図 (中田) 調査 (中田)			特記	工事名 (仮称) あたみ認定こども看護修理工事(その2)(乳児棟)	図面名 弱電設備 2階平面図(撤去)	Scale A1:1/100 A3:1/200	No. E-39 Total 43
		意匠設計: 一般建築第334613号 斎藤 靖子	実施設計: 一般建築第274650号 伊東 陽子	監理: 一般建築士登録第2017号	監理: 一般建築士登録第274650号											

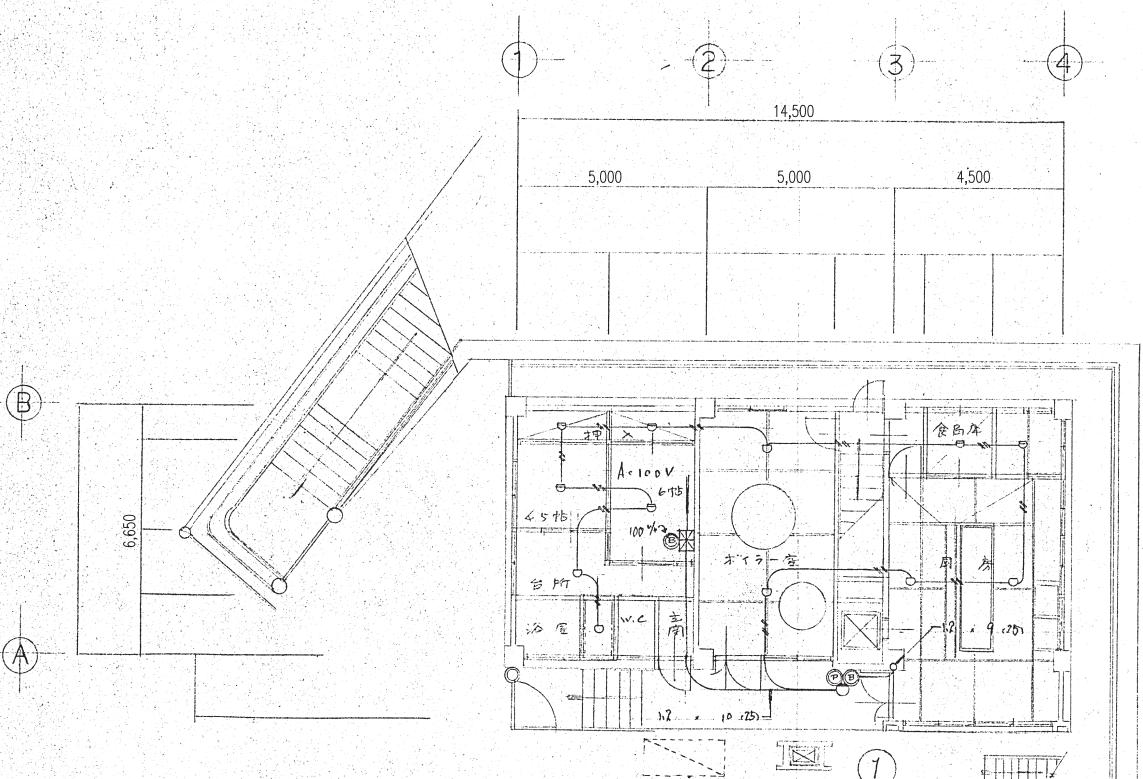
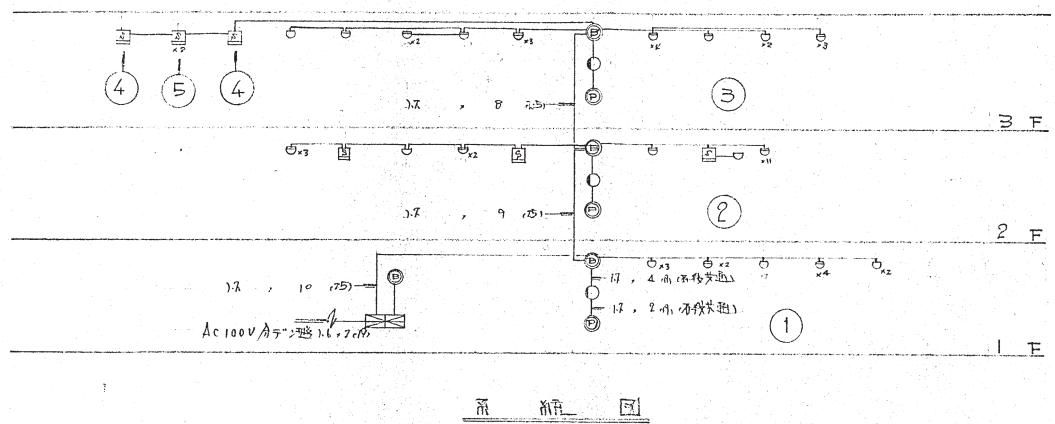


屋上平面図 S = 1 / 100

- 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
- 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図

□	株式会社 日比野設計 HIBINO SEKKEI	Date 平成30年3月	Plan	Draw	Check	熱海市観光建設部まちづくり課 認定設計: 一般建築士 第334613号 認定者: 鹿部 譲子 一般建築士 第274650号 伊東 陽子	特記	工事名 (仮称)あたみ認定こども看護改修工事(その2)(乳児棟)	図面名 弱電設備 屋上平面図(撤去)	Scale A1:1/100 A3:1/200	No. E-40 Total 43
			奥水	木村	伊佐地						



地階平面図 S=1/100

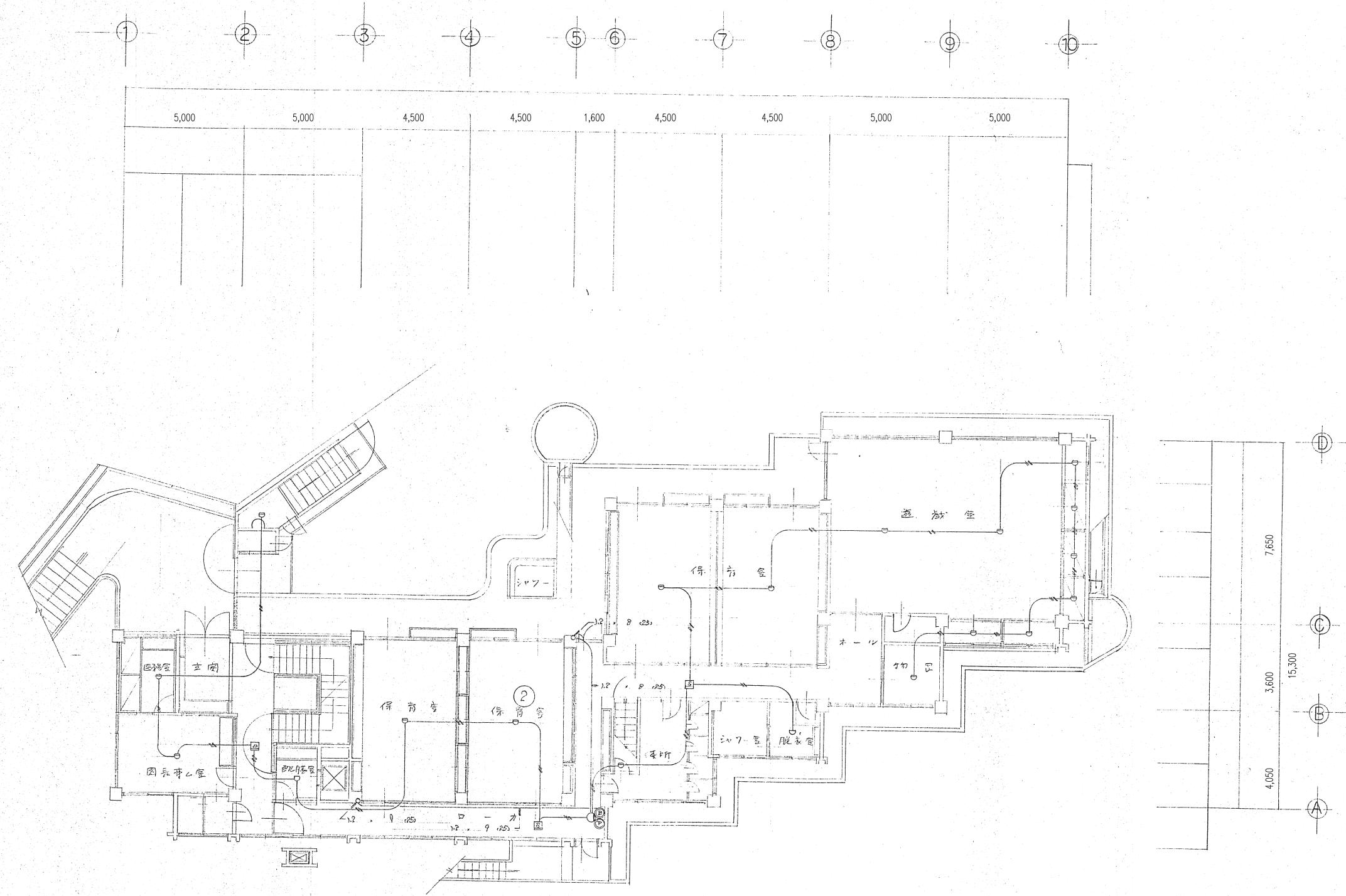
部	名	部	名
P型	5窓壁面窓	物	研磨
P型	3窓壁面窓	研磨	出窓
150mm	140mm	2	縦
差動式スイッチ	差動式スイッチ	2	横
差動式スイッチ	差動式スイッチ	3	縦
煙	煙	4	横
電	電	5	縦
梯子	梯子	6	横
合上	合上	7	縦
ドア	ドア	8	横
部屋	部屋	9	縦
機械	機械	10	横
器具	器具	11	縦
器具	器具	12	横

機械室及配管及配管器具

- 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
- 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図

株式会社 日比野設計 HIBINO SEKKEI	Date 平成30年3月	Plan 奥水	Draw 木村	Check 伊佐地	熱海市観光建設部まちづくり課 設計 製図 調査	特記	工事名 (仮称)あたみ認定こども看護修改工事(その2)(乳児館)	図面名 自動火災報知設備 地階平面図(撤去)	Scale A1:1/100 A3:1/200	No. E-41 Total 43
							監修:一般建築士 第334613号 関部 譲子 第2017号 伊東 陽子			

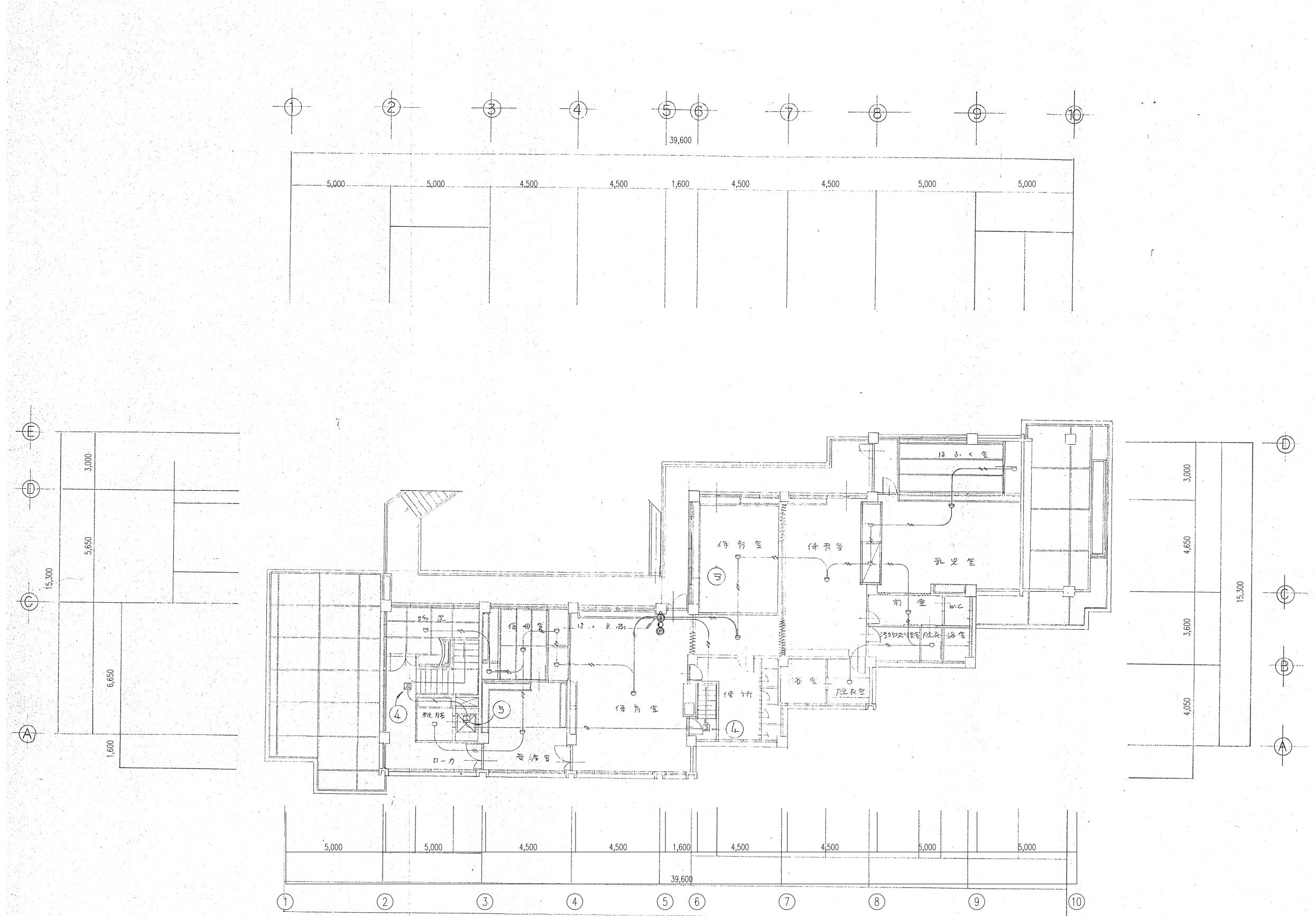


1階平面図 S=1/100

- 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
 - 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図

株式会社 日比野設計 HIBINO SEKKEI	一級建築士事務所登録第2017号 一級建築士第24650号 伊東 駿子	Date 平成30年3月	Plan 奥水	Draw 木村	Check 伊佐地	熱海市観光建設部まちづくり課				工事名 (仮称)あたみ認定こども園改修工事(その2)(乳児棟)	面図名 自動火災報知設備 1階平面図(撤去)	Scale A1:1/100 A3:1/200	No. E-42
						設計	中田	製図	中田	調査	築田		



撤去図

株式会社 日比野設計	Date	Plan	Draw	Check	熱海市観光建設部まちづくり課	特記	工事名	図面名	Scale	No.
HIBINO SEKKEI 一級建築士事務所 津奈川県知事登録 第2017号 一級建築士 第274650号 伊東陽子	平成30年3月	奥水	木村	伊佐地	設計 中田 製図 中田 調査 塙田		(仮称)あたみ認定こども園改修工事(その2)(乳児棟)	自動火災報知設備 2階平面図(撤去)	A1:1/100 A3:1/200	E-43 Total 43